

# ●●● 江別市教育目標 ●●●

恵まれた自然と いろどりのある歴史をもった  
 可能性あふれる 郷土「江別」に誇りをいただき  
 ひとりひとりが自己を充実させ  
 豊かな未来を築くために

- 1 ● 常に学習に励み 正しい判断力と 創造性に富む人
- 2 ● 自然をいつくしみ 文化を育てる 感性豊かな人
- 3 ● 心身を鍛え 明るく たくましく生きる人
- 4 ● 健全な家庭と 豊かなまちづくりに 努力する人
- 5 ● 国際的視野に立ち 郷土の発展に 貢献する人

21世紀の社会を展望し、心豊かでたくましく創造性あふれる「文教都市えべつ」をつくりあげていくために、江別市教育委員会では、下図の教育施策を柱として、新しい時代に対応した教育行政を推進します。

平成20年度において、江別市教育委員会が取り組む事業などを、この冊子を通じて皆様にお知らせします。

## 江別市の教育関係施策

施 策	基 本 事 業
5-1 子どもの可能性を伸ばす教育の充実	1 教育内容の充実
	2 開かれた学校づくり
	3 健康と食教育の充実
	4 教育環境の充実
5-2 生涯学習の充実	1 生涯学習関連施設の充実
	2 生涯学習支援体制の推進
	3 生涯学習機会の充実
5-3 青少年健全育成の推進	1 青少年健全育成活動の充実
	2 心のケアの充実
5-4 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	1 自主的市民文化・芸術活動の育成・支援
	2 文化・芸術を支援する市民組織の育成
	3 文化・歴史遺産の保存と継承
5-5 市民スポーツ活動の充実	1 スポーツ・レクリエーション施設の充実
	2 スポーツ・レクリエーション機会の充実
3-3 子育て環境の充実	2 幼保機能の充実
6-3 国内・国際交流の推進	3 異文化交流の推進

※表中の番号は、「江別市総合計画」におけるコード番号を示したものです。

# も く じ

## 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

● <b>教育内容の充実</b> .....	1
キャリア教育推進事業	
総合的な学習の時間等推進事業	
外国青年招致事業	
情報教育推進事業	
児童生徒用図書室事業	
社会人による教育活動等支援事業	
就学援助	
特別支援教育就学奨励費	
特別支援学級通学付添費	
奨学金	
特別支援教育	
就学指導委員会	
小規模特認校	
姉妹都市交流	
江別市教育研究所	
江別市教育研究会	
● <b>開かれた学校づくり</b> .....	12
地域一体型・学校の顔づくり事業	
学校選択制	
学校評議員事業	
学校一斉公開	
● <b>健康と食教育の充実</b> .....	13
江別市の学校給食	
● <b>教育環境の充実</b> .....	14
校舎・屋内体育館耐震化	
学校施設整備	

## 生涯学習の充実

● <b>生涯学習支援体制の推進</b> .....	15
体験活動・ボランティア活動支援センター	
生涯学習団体支援	
青少年ふれあい交流促進事業	
● <b>生涯学習機会の充実</b> .....	15
生涯学習講座事業	
高齢者学級の開設	
ふるさと江別塾～まちおこし市民大学講座	
学社融合事業	
家庭教育事業	
情報図書館運営管理事業	

## 青少年健全育成の推進

● <b>青少年健全育成活動の充実</b> .....	19
ジュニアリーダー養成事業	
青少年キャンプ村事業	
成人式開催事業	
青少年文化賞顕彰事業	
江別市青少年のための市民会議	
● <b>心のケアの充実</b> .....	20
問題行動対策事業	
電話相談事業	
いじめ・不登校対策事業	
心の教室相談事業	
スクールカウンセラー事業	

## ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

● <b>自主的市民文化・芸術活動の育成・支援</b> .....	23
市民文化祭開催支援事業	
発表の場拡大事業(芸術文化奨励補助金)	
子どもの文化活動育成事業	

文化振興奨励事業(芸術文化大会・コンクール出場奨励金)  
江別叢書等の販売  
各種助成制度の情報提供  
陶芸文化普及振興事業  
セラミックアートセンター企画展開催事業

● <b>文化・芸術を支援する市民組織の育成</b> .....	25
まちかどコンサート事業	
● <b>文化・歴史遺産の保存と継承</b> .....	26
トリアスカル事業(トリアス☆カル2008～サマーアートキャンプIN江別～) 郷土資料館運営事業等	

## 市民スポーツ活動の充実

● <b>スポーツ・レクリエーション施設の充実</b> .....	27
学校体育施設開放事業	
東野幌体育館整備事業(中原通街路事業関連)	
江別市体育協会補助金	
江別市スポーツ少年団補助	
総合型地域スポーツクラブ	
ツールド・北海道開催事業	
● <b>スポーツ・レクリエーション機会の充実</b> .....	30
スポーツ大会出場奨励金	
青少年スポーツ賞	
軽スポーツ出前事業	

## 子育て環境の充実

● <b>幼保機能の充実</b> .....	31
幼稚園保育料の減免(幼稚園就園奨励事業)	
幼稚園に対する補助制度	
江別市幼児教育推進協議会	

## 国内・国際交流の推進

● <b>異文化交流の推進</b> .....	32
小中学生国内研修交流事業	
中学生海外研修交流事業	

## 資料編

教育委員の紹介 .....	33
各種審議会等 .....	33
教育予算の状況 .....	34
江別市立小中学校一覧 .....	35
児童生徒数の推移(市立小中学校) .....	36
江別市立小中学校施設概要 .....	37
市内の市立以外の学校 .....	38
市内の幼稚園 .....	39
放課後児童会・児童センター一覧 .....	40
社会教育施設 .....	41
公民館	
旧町村農場	
北海道林木育種場旧庁舎	
江別市民文化ホール	
情報図書館	
郷土資料館	
屯田資料館	
江別市セラミックアートセンター	
スポーツ施設概要 .....	49
スポーツ団体一覧 .....	50
各スポーツ施設利用状況 .....	51
江別市教育のあゆみ .....	53
教育委員会の主な仕事の内容と担当部署 .....	55

# 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

## 教育内容の充実

【5.1.1】

### >>> キャリア教育推進事業

近年、学校に通っておらず、働いてもおらず、職業訓練も行っていないいわゆるニートの状態にある若年無業者の増加が問題となっています。

これらの対策として、明確な目的意識を持って日々の学業生活に取り組み、児童生徒一人ひとりが「生きる力」を身に付け、主体的に自己の進路を選択・決定できるなど、社会人・職業人として自立していくことを目的として「キャリア教育」を推進します。

◇平成20年度予算額 576千円

◇実施内容

原則として連続5日間事業所に入り職場体験をする。

◇実施校

中央中学校	3年生	213人	実施期間	8月25日～29日
江陽中学校	2年生	127人	実施期間	10月6日～10日
大麻中学校	2年生	158人	実施期間	10月20日～24日
江別第一中学校	2年生	210人	実施期間	10月27日～31日

#### 協力事業所名一覧（平成20年6月30日現在 敬称略・順不同）

福祉関係	愛保育園	デイサービスセンターのぞみ	静苑ホーム	デイホームおひさま江別
	デイサービスセンター友愛江別	デイサービスセンター友愛野幌	もみの木	特別養護老人ホーム誠志苑
	友愛ナーシングホーム	老健のっぽろ		
幼稚園	あけぼの幼稚園	江別あかしゃ幼稚園	江別大谷幼稚園	大麻藤幼稚園
	大麻幼稚園	上江別幼稚園	第二大麻幼稚園	のっぽろ幼稚園
	元江別わかば幼稚園	元野幌めぐみ幼稚園	若葉幼稚園	
その他民間企業など	赤八巻	江別市スポーツ振興財団	江別振興公社	江別製粉
	王子エンジニアリング	ゴルフ	コープさっぽろ江別店	コープさっぽろ野幌店
	ザ・ダイソー江別大麻店	ザ・ダイソー ホクレンショップゆめみ野店	札幌学院大学	札幌学院大学生生活協同組合
	JA道央農協江別ストア	市民会館レストランマキシドルパ	生活応援館プライス大麻店	セイコーマートやよい
	セブン-イレブン江別牧場店	ツルハドラッグ江別牧場店	ツルハドラッグ大麻店	ツルハドラッグ東野幌店
	ツルハドラッグ代々木店	道菱石油江別営業所	トンデンファーム	広谷製パン
	ブックアート	ホームマック江別店	ホームマックスーパーデポ 元江別店	ホクレンショップ大麻北町店
	ホクレンショップ元江別店	ホクレンショップゆめみ野店	北海道情報大学	北海道電力総合研究所
	マクドナルド江別ポスフル店	マツヤデンキキャデン江別店	マックスバリュ江別店	三浦建設
	米澤煉瓦	酪農学園大学	酪農学園大学生生活協同組合	レストラン シェ・キノ
	ローソン江別一番町店	ローソン江別豊幌美咲店	ローソン江別弥生町店	江別市役所各部
	市内市立小学校16校	江別市教育委員会		

## >>> 総合的な学習の時間等推進事業

---

義務教育の新領域として導入された「総合的な学習の時間」では、各学校が創意工夫し、体験学習や問題解決学習など、これまでの教科の枠を超えた幅広い学習活動に取り組み、子どもたちの「生きる力」の育成を目指します。

- 平成20年度予算額 10,966千円（小学校費 7,015千円 中学校費 3,951千円）

## >>> 外国青年招致事業

---

外国青年による語学指導を通して生徒が生きた英語に接する機会を日常化し、国際化の理解と関心を深め、英語教育の充実を図ります。

- 平成20年度予算額 8,861千円
- 英語指導助手配置人数 2人
- 対象校 市立中学校10校

## >>> 情報教育推進事業

---

情報化社会のめざましい進展にともなう情報教育への対応を図るため、教育用コンピューターの整備を進めます。

- 平成20年度予算額 66,673千円（小学校費 59,887千円 中学校費 6,786千円）

## >>> 児童生徒用図書室事業

---

「総合的な学習の時間」における「調べ学習」等、学校図書の充実がより必要となるので、計画的に図書及び書架等の整備を進めます。また、児童生徒が読書に親しみ、より豊かな表現力・想像力を培うことができるよう学校図書館の環境改善を平成14年度から実施しています。

- 平成20年度予算額 16,200千円（小学校費 8,100千円 中学校費 8,100千円）

## >>> 社会人による教育活動等支援事業

---

子ども一人ひとりの特性を生かし、その固有の能力を伸ばすことや「確かな学力」の向上、「豊かな心」と「健やかな体」を育成するとともに、地域に開かれた魅力と活力ある「信頼される学校づくり」の実現を目的とし、文化・芸術・体育など多岐にわたる分野から秀でた、いわゆるプロフェッショナルの社会人を幅広く募り、授業（総合的な学習を除く）や各種教育活動の講師として派遣します。

- 平成20年度予算額 1,000千円

## >>> 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行います。

### 援助費の内訳（平成20年度、ただし※は平成19年度実績の1件当たり平均支給額）

区 分		小学校	中学校	支 給 内 容
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 19,900	円 22,900	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品
学用品費 通学用品費 校外活動費	1年	10,080	19,020	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び宿泊を伴わない校外活動に参加するために必要な交通費及び見学料（年2回分割支給）
	2年	11,820	20,760	
	3年			
	4年			
	5年			
	6年			
体育実技用具費	スキー	※ 25,305	※ 36,330	体育授業の参加に必要な体育実技用具
宿泊校外活動費		3,470 上限	5,840 上限	学校行事として宿泊を伴う校外活動（学校内での宿泊を除く）に参加するために必要な交通費及び見学料（年2回分割支給）
通 学 費		※ 43,426	※ 20,835	最も経済的な通常の経路と方法により通学する場合の交通費（片道の通学距離が小学校4km以上、中学校6km以上）
修学旅行費		20,600 上限	55,900 上限	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学料などの経費
学校給食費		※ 41,958	※ 50,121	学校給食に要する食費の全額
医 療 費		※ 11,814	※ 11,431	伝染病又は学習に障害を生ずるおそれのある疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）をいう。

### 就学援助の状況（過去5ヶ年の推移）

（単位：人・千円）

区分	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
小学校	実施人員	1,128	1,200	1,281	1,351	1,391
	決算額	84,872	88,956	97,961	95,204	100,584
中学校	実施人員	496	549	631	670	658
	決算額	56,810	63,155	72,556	73,148	71,772
計	実施人員	1,624	1,749	1,912	2,021	2,049
	決算額	141,682	152,111	170,517	168,352	172,356

## >>> 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図ります。

### 奨励費の内訳（平成20年度、ただし※は平成19年度実績）

区 分		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 9,950	円 11,450
学用品費 通学用品費 校外活動費	1年	6,305	11,940
	2年	7,390	13,025
	3年		
	4年		
	5年		
	6年		
体育実技用具費	スキー	※ 12,650	※ 18,150
宿泊校外活動費		1,735 上限	2,920 上限
通 学 費		※ 24,550	※ 35,511
修学旅行費		10,300 上限	27,950 上限
学校給食費	1年	※ 20,406	※ 25,404
	2年		
	3年		
	4年		
	5年		
	6年		

### 特別支援教育就学奨励費の状況（過去5ヶ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
小学校	実施人員		40	42	42	33	35
	決算額		1,537	1,383	1,404	1,191	1,237
中学校	実施人員		17	20	22	23	20
	決算額		1,185	1,308	1,430	1,500	1,097
計	実施人員		57	62	64	56	55
	決算額		2,722	2,691	2,834	2,691	2,334

## >>> 特別支援学級通学付添費

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、通学の付添に必要な交通費を援助します。

- ・ 1人当たり平均支給額 34,381円（平成19年度実績）

### 特別支援学級通学付添費援助の状況

区分		年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
実施人員	人		48	56	59	63	58
決算額	千円		1,704	2,009	2,124	2,257	1,994

## >>> 奨学金

高等学校の就学能力があるにもかかわらず、経済的理由により就学困難な高等学校生徒に対し、その修学に必要な資金の一部を貸与し、等しくその能力に応じた教育を受ける機会を与えることを目的に、実施しています。

### 制度の概要

- (1) 貸与月額（平成20年度）
  - 公立高等学校 8,000円
  - 私立高等学校 18,000円
- (2) 貸与開始
  - 昭和41年度
- (3) 貸与総額（平成20年3月31日）
  - 74,918,000円
- (4) 償還総額（平成20年3月31日）
  - 55,745,250円

奨学金貸与月額推移

(単位：円)

年度 学校	昭41	42～46	47～48	49～52	53～61	62～元	平2～15	16～
公立	1,000	2,000	3,000	5,000	5,000	7,000	8,000	8,000
私立					8,000	12,000	15,000	18,000

新規選定者数及び償還者の状況（過去10ヶ年の推移）

(単位：人)

項目	年度	平10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
新規選定者数		9	10	7	4	10	8	7	8	8	4
償還終了者数		9	7	10	4	9	2	7	9	9	8

奨学資金申請者及び選定者数の状況（過去10ヶ年の推移）

(単位：人)

年度	内訳	申請者						選定者							
		公私立別		計	学年別				公私立別		計	学年別			
		公立	私立		1年	2年	3年	4年	公立	私立		1年	2年	3年	4年
10		12	3	15	12	3	0	0	8	3	11	8	3	0	0
11		13	6	19	8	8	3	0	13	6	19	8	8	3	0
12		10	10	20	7	7	6	0	10	10	20	7	7	6	0
13		9	5	14	6	4	4	0	9	5	14	6	4	4	0
14		12	5	17	9	4	4	0	12	5	17	9	4	4	0
15		17	9	26	13	10	2	1	13	6	19	6	10	2	1
16		19	9	28	11	8	9	0	14	6	20	5	7	8	0
17		12	7	19	6	6	7	0	12	7	19	6	6	7	0
18		13	7	20	7	7	6	0	13	7	20	7	7	6	0
19		9	8	17	2	8	7	0	9	8	17	2	8	7	0

## >>> 特別支援教育

特別支援教育とは、これまでの特殊教育の対象だけでなく、発達障がい等も含めて障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものです。

江別市では、教育委員会に特別支援教育コーディネーターを1名配置し、学校や関係機関と連携しながら、小中学校の教育支援体制の整備、指導方法の工夫改善のための研修会実施など特別支援教育の推進に取り組めます。

- 平成20年度予算額 13,085千円

また、江別市では、次のような特別支援学級を開設しています。

### ①知的障がい

学級では、各教科の目標のほかに、健康な体づくり、基本的な生活習慣の形成、社会生活に必要な言語の理解や表現等の指導、対人関係や集団参加を円滑に行わせるための指導、さらには職業生活・家庭生活に必要な知識・技能等を身につけさせるための指導等を行うほか、普通学級の児童生徒と活動を共にする機会を設けるよう配慮しています。

### ②情緒障がい

学級では、各教科の目標のほかに、日常生活習慣を身につけさせること、感覚機能や運動機能の調和的発達を図ること、生活意欲を高めること等を目標にし、障がいの内容や程度に応じて、個別指導、小集団指導等の工夫をしています。

### ③肢体不自由

学級においては、各教科の目標のほかに、運動機能や認知機能等の向上を目指した指導を行っています。また、教材・教具の開発に個人差を考慮するとともに普通学級の児童生徒との交流を通して社会性や集団への参加能力を高めるよう留意しています。

### ④病・虚弱

病・虚弱児とは、一般に病気が長期にわたり、または長期にわたる見込みの者で、その間医療または生活規制を必要とする児童生徒のことです。

本市では、江別市立病院内に「院内学級」を設置し、院内学級教諭と病院の職員との間で緊密な連携をとりながら健康回復を図るための指導を行い、各教科の指導にあたっては、内容を精選するほか、特に身体活動を伴う学習については、指導方法を工夫するなど様々な配慮を行っています。

### ⑤視覚障がい

学級においては、感覚機能や認知機能、運動機能等の発達を図ること、また、普通学級の児童との交流を通して、社会性や集団への参加能力を高めるよう留意しています。

### ⑥言語学級通級制度

平成9年4月より通常の学級に在籍している児童に対して、各教科等の指導は通常の学級で行いつつ、言語の障がいに応じた指導を特別の場で行う形態を導入しています。

## >>> 就学指導委員会

江別市では、専門家の意見を聞くなどして、適切な就学指導を行うことができるよう、医師・学識経験者・教育職員・児童福祉施設の職員・関係行政機関の職員からなる就学指導委員会を設置し、心身の障がいの種類・程度等に関する調査・審議を行っています。

### 就学指導委員会における就学状況

#### (1) 就学指導委員会の審議ケース

(単位：人)

就学年度		平15	16	17	18	19	20
区分							
新入学児童		32	34	25	31	23	31
在校生	小学校	23	19	9	16	25	20
	中学校	1	1	0	0	0	1
合計		56	54	34	47	48	52

#### (2) 上記の就学状況

(単位：人)

就学年度		平15	16	17	18	19	20
区分							
盲学校		1	2	0	0	1	2
養護学校		3	5	3	8	6	4
特別支援学級	知的	13	14	5	15	18	11
	情緒	16	10	7	7	8	16
	肢体	1	1	1	2	2	2
	弱視	0	0	0	0	1	0
言語(平成9年度から)		13	18	10	10	7	10
普通学級		9	4	8	5	5	7
合計		56	54	34	47	48	52

平成20年度 特別支援学級設置状況 (平成20年5月1日現在)

(単位：人)

区分 学校名	障がい 区分	設 置 年 月	学級数	児 童 生徒数	学 年 別 内 訳						教員数	補助教員 介助員数
					1	2	3	4	5	6		
江別第二小学校	情 緒	H20.4	1	5	2	0	0	2	1	0	1	1
江別第三小学校	知 的	S35.4	1	2	0	1	0	0	0	1	1	2
	情 緒	S47.4	1	2	0	0	0	0	1	1	1	
	病虚弱	S56.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大 麻 小 学 校	知 的	H19.4	1	3	0	1	0	1	0	1	1	1
	情 緒	H19.4	1	2	0	1	1	0	0	0	1	
東野幌小学校	知 的	H19.4	1	7	4	1	0	0	0	2	2	5
	情 緒	H19.4	1	3	1	1	0	0	1	0	2	
	肢 体	S58.4	1	3	2	1	0	0	0	0	1	
中 央 小 学 校	知 的	S52.1	2	10	1	2	2	2	1	2	4	3
	情 緒	S52.1	1	5	0	0	0	1	1	3	1	
大麻泉小学校	知 的	S53.4	2	10	1	1	4	1	2	1	4	3
	情 緒	S53.4	2	11	1	0	3	2	2	3	3	
いずみ野小学校	肢 体	H18.4	1	2	0	0	2	0	0	0	1	0
小学校計(7校)			16	65	12	9	12	9	9	14	23	15
江別第一中学校	知 的	S33.4	2	10	1	4	5				3	1
	情 緒	S51.4	1	3	2	0	1				1	
	病虚弱	S58.4	0	0	0	0	0				0	
江別第二中学校	知 的	H19.4	1	5	2	2	1				2	1
	情 緒	H20.4	1	2	2	0	0				1	
	肢 体	H19.4	1	1	0	1	0				1	
大麻東中学校	知 的	S54.4	1	8	1	1	6				2	2
	情 緒	S58.4	1	8	3	2	3				3	
	弱 視	H19.4	1	1	0	1	0				1	
中学校計(3校)			9	38	11	11	16				14	4
合 計(10校)			25	103							37	19

(注) ただし、病虚弱学級は江別市立病院に開設しています。

障がい区分別児童生徒数

(平成20年5月1日現在) (単位：人)

区 分	児童生徒数	小 学 校	中 学 校
知 的	55	32	23
情 緒	41	28	13
病 虚 弱	0	0	0
肢体不自由	6	5	1
弱 視	1	0	1
合 計	103	65	38

通級指導校設置状況

(平成20年5月1日現在) (単位：人)

区分 学校名	障がい 区分	設 置 年 月	児童数	学 年 別 内 訳						教員数
				1	2	3	4	5	6	
大麻東小学校	言語	H 9.4	22	5	3	6	3	4	1	2
中 央 小 学 校	言語	H 9.4	24	5	2	7	3	4	3	2
	発達	H20.4	3	1	0	0	0	1	1	1
合 計(2校)			49	11	5	13	6	9	5	5

## >>> 小規模特認校

恵まれた自然環境と少人数による人間的なふれあいという小規模校のよい面を生かすため、通学可能な範囲で学校への通学を希望する保護者に校区を開放する「特認入学」制度が、平成4年4月から野幌小学校においてスタートしました。

### (1) 特認校制度の趣旨と目的

豊かな自然環境に生まれ、伝統ある校風のもとに教育実践を行っている小規模校で、心身の健康増進を図り体力づくりを目指すとともに、自然にふれるなかで豊かな人間性を培い、明るく伸び伸びとした特色ある教育を希望する保護者に対して、一定の条件を付けて入学を認める制度です。

### (2) 特認入学の考え方

一般的に児童・生徒の学校は、教育委員会が定めた通学区域に基づいて学校を指定しますが、特認入学は、保護者がこの制度の趣旨と目的にそって小規模校の特色ある教育活動のなかで教育を受けさせたいという場合に限られるものです。保護者が小規模校への特認入学を希望する場合は、通学状況及び生活指導面等について、十分に教育的な配慮をしたうえで、教育委員会が指定する学校に限って認められるものです。

### (3) 対象となる学校

児童数の状況、学校を取りまく自然環境や交通事情などの地理的状況を考慮して次の学校を特認入学校として指定しています。

学 校 名	住 所	定 員
野幌小学校	江別市西野幌252	16名程度（1学年1学級あたり）

## >>> 姉妹都市交流

これまでの国際化は外交、貿易、金融などを中心に推進されてきましたが、現在は、個人が国境を簡単に行き来し、インターネット等を通して各国の情報を家庭で入手するなど、交通・通信手段の著しい発達に伴って、民間レベルでの国際化が急速に進展しています。

このようにボーダレス化が進むなか、多くの諸問題をグローバルな視野で捉えることのできる国際性豊かな人材の育成が求められており、そのためには、異文化に触れ、違いを認めながらお互いを理解し、尊重しようとする姿勢が望まれています。

国内でもそれぞれの地域が、独自の歴史と風土に根ざし培ってきた文化を数多く持っています。

こうしたことから江別市では、昭和52年にアメリカ合衆国オレゴン州グレシャム市と姉妹都市、昭和53年には高知県土佐市と友好都市の盟約をそれぞれ締結し、市民による草の根の交流を深めるとともに、学校教育段階において姉妹校の関係を結び、作品交換、訪問などを通して交流を行っています。

### 姉妹校一覧

学 校 名	盟 約 先	盟 約 年 月 日
中 央 小 学 校	バ ー レ イ 小 学 校	昭 和 5 4 年 1 0 月 1 9 日
大 麻 泉 小 学 校	ハ イ ラ ン ド 小 学 校	昭 和 5 8 年 2 月 2 8 日
野 幌 若 葉 小 学 校	ホ ー ル 小 学 校	昭 和 5 9 年 6 月 1 7 日
江 別 小 学 校	宇 佐 小 学 校	昭 和 5 9 年 7 月 2 8 日
大 麻 小 学 校	西 グ レ シ ャ ム 小 学 校	平 成 9 年 7 月 1 4 日
江 別 第 三 中 学 校	高 岡 中 学 校	昭 和 6 0 年 8 月 2 7 日
野 幌 中 学 校	ゴ ー ド ン ラ ッ セ ル 中 学 校	平 成 1 5 年 1 月 2 2 日
あ か し や 幼 稚 園	ハ イ ラ ン ド 小 学 校	昭 和 5 8 年 2 月 2 8 日
と わ の 森 三 愛 高 等 学 校	サ ン ・ バ ー 口 高 校	平 成 元 年 3 月 1 3 日
同 上	グ レ シ ャ ム 高 校	平 成 元 年 3 月 1 4 日
同 上	マ ー リ ン グ 高 校	平 成 5 年 2 月 2 日
北 翔 大 学	マ ウ ン ト フ ッ ト ・ コ ミ ュ ニ ティ 大 学	昭 和 6 2 年 6 月 1 日
同 上	エ ン デ ィ コ ッ ト 大 学	平 成 3 年 8 月 3 0 日
札 幌 学 院 大 学	ベ ン ト リ ー 大 学	平 成 元 年 5 月 1 9 日

## >>> 江別市教育研究所

江別市の教育の実態に基づき教育の理論と実践について専門的研究を行い、教育の進展と内容の充実を図るほか、学校・家庭・地域の連携を支援します。

- 平成20年度予算額 3,687千円

## >>> 江別市教育研究会

江別市に学び育つ児童生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばすとともに豊かな人間性を育てるため、自主的、組織的に研究活動を展開しています。また、学校教育及び地域社会教育のあり方と連携に関して共通の課題を担い、江別市の教育の充実のための研究と実践を行います。

- 平成20年度予算額 5,200千円

### >>> 地域一体型・学校の顔づくり事業

江別市立小中学校では、「特色のある学校づくり」の実現に向けて、各学校が地域の特性などを踏まえて取り組み実践項目を掲げ活動しています。この活動は、「特色のある学校づくり」「開かれた学校づくり」により教育の充実を図ることを目的に平成13年度から実施しています。

平成15年度までは、提示された取り組み実践項目の中から学校が選択して活動していましたが、取り組み内容も熟度を増してきたことから、平成16年度からは、学校が主体的に取り組み内容を企画立案して活動しています。

#### 【取組実践項目の例】

○心豊かな子どもを育むために、地域・父母が協力し合う学校づくり ○生きる力を育むボランティア活動の実践 ○郷土を愛する心を育てる事業の実践 ○外国人との国際交流の実践 ○読書を愛する子どもを育てる実践 ……など

・平成20年度予算額 3,300千円

### >>> 学校選択制

平成17年度から「学校選択制」を実施しています。

「学校選択制」は、通学区域の指定校以外の学校を選択する場合に、子どもたちが行きたい学校、保護者が行かせたい学校を希望できる制度で、この制度の確立によって学校の特色づくりなどを充実させ、魅力ある学校づくりを行うことを目的としています。

◇対象 市立小中学校の新1年生

◇選択できる学校の範囲 指定校と隣接する学校の中から1校を希望することができます。

◇平成20年度選択入学人数 小学校60人 中学校27人 計87人

### >>> 学校評議員事業

より一層地域に開かれた学校づくりを進める観点から、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開できるよう、全小中学校において学校評議員制を導入しています。

・評議員数 115名予定

### >>> 学校一斉公開

「地域に開かれた学校づくり」を進めるため、市立小中学校・立命館慶祥中学校・北海道札幌盲学校を自由に見学できるよう、公開日を設けています。

・平成20年度開催日 7月1日(火)・11月4日(火)

## 健康と食教育の充実

### 【5.1.3】

### >>> 江別市の学校給食

給食センター

江別市元野幌741番地の2 ☎382-5188

給食センター対雁調理場

江別市工業町9番地の10 ☎383-8550

江別市の学校給食は、昭和37年9月に江別小学校で「パン・脱脂粉乳・おかず」の完全給食として始まり、昭和44年1月、共同調理場方式で市内小中学校に学校給食を開始しました。

昭和54年10月に米飯給食が始まり、平成10年度からは小学6年生の「選択給食」、平成15年度から中学3年生の「卒業祝給食」、平成16年度から小学5年生の、平成17年度から小学4年生の「リザーブ給食」を実施し、食事内容の充実を図るとともに、子どもたちが食物を選択する力を身につけるための取り組みをしています。

現在、センター調理場、対雁調理場の2カ所で、小中学生合計11,000名の給食を供給しています。

#### 【学校給食の目標】（学校給食法）

- 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うこと。
- 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと。
- 食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ること。
- 食糧の生産、配分及び消費について正しい理解に導くこと。

#### 《食に関する指導の推進》

子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくために「食」が重要であるとして、平成17年6月10日「食育基本法」が制定されました。給食センターでは、学校および家庭・地域に向けて食育推進の取り組みを行っています。

子どもたちに望ましい食習慣を身につけてもらうために、学校と連携を図りながら、平成12年度より「食に関する指導」を実践しています。

20年度も学校との連携を強化し、給食の献立を教材として、児童生徒の実態を踏まえた指導内容の充実を図りながら食に関する指導を推進していきます。

〔指導学級数 平成17年度：164学級 平成18年度：209学級 平成19年度：213学級〕



#### 《地産地消の推進～江別産食材の活用》

安全・安心な給食提供のため、平成13年度から低農薬で新鮮な農産物を市内農家から計画的に購入する方法を取り入れています。地場産野菜の使用割合は、16年度46.9%、17年度は天候不順のため43.0%となりましたが、18年度は51.3%に伸び、19年度は天候不順の影響もありましたが、50.3%となりました。20年度以降につきましても、生産団体等と連携を図り、更に品目の拡大等を図っています。米は全量江別産“ほしのゆめ”を使用しています。

また、17年度に江別産小麦粉100%のパンを初めて年3回実施し、子どもたちに江別産小麦のおいしさを味わってもらいました。18年度は年5回実施、19年度は年7回実施、20年度は年8回実施する予定です。

そのほか、江別小麦ラーメン、まちむら牛乳、セミドライソーセージ、アロニアゼリー等、江別で作られている安全良質な食品を、子どもたちに提供するよう努めています。

学年	区分	一食単価	内 訳		
			主 食	副 食	牛 乳
小 学 校	低 学 年	247	60	151	36
	中 学 年	250	63	151	36
	高 学 年	253	66	151	36
中 学 校		307	76	195	36

## 教育環境の充実

【5.1.4】

### >>> 校舎・屋内体育館耐震化

昭和56年以前に建築された2階建・200㎡以上・非木造建築物の耐震診断、耐震改修を年次計画的に実施します。

- (1) 校舎屋体耐震化事業（小学校） 11,960千円
- ・大麻東小学校 校舎・屋内体育館耐震診断委託
  - ・大麻西小学校 校舎・屋内体育館耐震改修実施設計委託
- (2) 校舎屋体耐震化事業（中学校） 213,046千円
- ・第二中学校 校舎耐震診断委託
  - ・第三中学校 校舎耐震改修実施設計委託
  - ・大麻中学校 校舎・屋内体育館耐震改修工事（19年度繰越事業）

### >>> 学校施設整備

近年、学校施設は量的整備から「学習方法・指導方法の多様化に対応できる施設」「児童生徒の生活の場としてふさわしい環境」「地域社会に開かれた施設」などに対応できる施設の質的整備が求められています。

このため、次のとおり学校施設の整備等を行います。

小 学 校	中 学 校
小学校校舎屋体改修（38,109千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・江別小学校高圧ケーブル更新工事</li> <li>・第二小学校教室照明改修工事</li> <li>・大麻西小学校ダムウェーター改修工事</li> <li>・野幌若葉小学校放送スタジオ天井改修工事</li> <li>・野幌若葉小学校ボイラー更新工事</li> <li>・文京台小学校高圧ケーブル更新工事</li> <li>・職員玄関オートロック錠設置工事</li> </ul>	中学校校舎屋体改修（13,933千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三中学校ダムウェーター改修工事</li> <li>・野幌中学校高圧ケーブル更新工事</li> <li>・大麻中学校校舎シャッター設置工事</li> <li>・中央中学校給湯配管改修工事</li> <li>・職員玄関オートロック錠設置工事</li> </ul>
小学校環境整備（15,015千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内樹木剪定委託</li> <li>・遊具保守点検委託及び補修</li> <li>・大麻東小学校フェンス・バックネット改修工事</li> <li>・文京台小学校プール改修工事</li> </ul>	中学校環境整備（1,500千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内樹木剪定委託</li> </ul>
小学校大規模改造（32,800千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央小学校屋内体育館床・外壁・窓サッシ改修工事</li> </ul>	

# 生涯学習の充実

## 生涯学習支援体制の推進

【5.2.2】

### >>> 体験活動・ボランティア活動支援センター

子ども達の放課後・週末等における新たな生涯学習の推進策として、地域で子どもを育てるための総合的な取り組みを支援しています。

放課後や週末等の子どもの活動や高齢者等との幅広い世代間のふれあい交流、自然生活体験、学校と家庭、地域等の活動を積極的に支援するための情報収集、活動の場や、指導者の紹介、調整の相談など幅広い支援活動を行っています。

### >>> 生涯学習団体支援

市民主体の生涯学習団体である生涯学習推進協議会や江別市女性団体協議会、江別市PTA連合会の事業運営などに、団体活動を支援するための補助金を交付しています。

- 平成20年度予算額 1,833千円



### >>> 青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習推進のため、概ね学校区を単位とした青少年と地域を対象に行う社会教育事業や音楽文化事業に対して、補助金を交付しています。

- 平成20年度予算額 200千円

## 生涯学習機会の充実

【5.2.3】

### >>> 生涯学習講座事業

著しい社会の変化に対応し、市民一人ひとりが生きがいのある生活と住みよい地域づくりのため楽しく豊かに学習活動を行えるよう、学習機会の拡充として各種講座を開催します。

## >>> 高齢者学級の開設

高齢者の生きがいを高めるとともに生活課題や学習要求に対応するため、65歳以上の方を対象とした蒼樹大学と、蒼樹大学卒業者による自主運営を基本とした聚楽学園を開設し、毎月の定例学習会と選択別の専攻講座、研修旅行や文化祭などの特別行事を行っています。

平成20年度は、蒼樹大学118名、聚楽学園325名が在籍しています。

## >>> ふるさと江別塾～まちおこし市民大学講座

市内の4大学がそれぞれの得意分野で、様々な現代的課題やまちづくりをテーマに講座を受け持ち、4大学連携の強化を図るとともに受講者である市民が、地域創造のための問題意識と知識を獲得し、まちづくりに生かすための学習の場として各大学を会場にそれぞれ講座を開催しています。

- 平成19年度の実績 計5講座、延べ175名参加



## >>> 学社融合事業

小中学校の校区を中心とした地域との交流を通じた学習活動と連携し、子ども達に農作業体験や自然観察、ものづくりなど地域の中での社会体験の機会を提供するため、地域やPTA、学校が一体となって子ども達を受け入れる事業を行っています。

- 平成19年度の実績 8事業、延べ322名参加



## >>> 家庭教育事業

青空のもと、幼児とその親がフォークダンス・リズム体操・創作活動などをしながら、親子のふれあいと参加者相互の交流を持ち、子どもの情操の高揚、しつけのあり方や家庭教育などについて学ぶ機会を提供する「青空子どもの広場」事業を市内5地区で開設しています。

- 平成19年度の実績 延べ101組、198名参加



## >>> 情報図書館運営管理事業

### 1 図書館の概要

情報図書館は、利用者の多岐に渡る知的ニーズに応えるとともに、また各種団体等と連携を図りながら、様々な情報を発信しています。

図書館の詳細な事業内容の情報は、インターネットのホームページ (<http://www.lib.city.ebetsu.hokkaido.jp>)、広報「えべつ」、情報図書館だより（毎月発行）、江別の図書館（年1回発行）などをご覧ください。

なお、図書館の位置、電話番号などは資料編に記載しています。

### 2 サービスの概要

#### (1) 図書部門

所蔵資料の館内閲覧・視聴には資格要件はありません。どなたでもご利用いただけます。

- 資料の貸出

江別市内にお住まいの方、市内に通勤・通学されている方について、図書・雑誌資料20冊、AV資料（音楽CD、カセットテープ）1点を上限に2週間以内で貸し出しします。また、団体での貸出制度もあります。本館・2分館・豊幌小学校図書館地域開放事業のどこからでも貸出、返却ができます。

- 予約・リクエスト

貸出中の資料や未所蔵の資料について、できる限り速やかに提供できるよう努めています。

- レファレンスサービス

参考調査のお手伝い、資料の検索相談、他の図書館の資料のアクセス相談などを行っています。お気軽にご相談ください。

- 点字図書などの郵送サービス

#### (2) 視聴覚ライブラリー

- 視聴覚ライブラリー機器の貸出

ビデオプロジェクター、OHCなどの機器を市内の学校・社会教育団体などに貸出しています。

- 視聴覚ライブラリー資料の貸出

ビデオ、DVDなどの資料を市内の団体及び個人（5点を上限）に1週間以内貸出しています。

- ビデオ編集機器の館内利用

ノンリニアビデオ編集システムなどを団体で利用できます。

#### (3) 情報提供サービス

インターネットにより、図書館利用情報の提供、蔵書検索サービスなどを行っています。

また、平成17年1月からインターネットでの資料の予約サービスを開始しました。

#### (4) 学校に関わる支援

平成18年度より学校図書館を支援するための「子どものための読書環境整備事業」として、学校に司書を派遣しております。平成20年度は派遣司書を2名体制とします。また総合学習における支援も行っています。

### 3 開催事業の内容

#### (1) おはなし会

本館及び江別分館、大麻分館において、幼児、児童を対象に開催しています。開催日時などは、各館へお問い合わせください。

#### (2) 映画会

日曜映画会、こども映画会、名作映画会などの上映会を開催しています。

#### (3) パソコン教室

ワープロ、表計算、インターネットなどを組み入れたパソコン教室をコンピュータ学習室において開催しています。また、講習会のない日は学習室を一般開放しています。



#### (4) 科学教室

平成20年度は夏・冬休み等に特別な企画を用意しています。

#### (5) こどもの読書週間関連事業など

毎年4月23日からの「こどもの読書週間」に「おはなし会スペシャル」「作って遊ぼう」など特別イベントを開催しています。

また、平成16年度から「読書週間」に併せ「雑誌のリサイクル市」を開催し図書館で利用されなくなった雑誌の市民への還元なども行っています。



# 青少年健全育成の推進

## 青少年健全育成活動の充実

【5.3.1】

### >>> ジュニアリーダー養成事業

地域の子ども会等少年団体活動の活性化・組織化を図るため、その中心的役割を担うリーダーを目指す小学校5年生から中学校1年生までの20名を対象として、野外実習及び宿泊体験等を行い、子ども会リーダーとしての資質を養成します。

### >>> 青少年キャンプ村事業

夏休み中、小中学生を対象として、自然に親しみながら集団生活を通じて、規則ある生活態度、協調性、社会性などを高め青少年の健全育成をめざしています。多様なプログラムを通して日常の家庭・学校生活では得られない場面を直接体験することにより、心の奥底に残る財産形成の一助としています。



- 平成20年度開催日 7月28日～8月2日
- 平成20年度予算額 462千円

### >>> 成人式開催事業

新成人となる青年の20歳の旅立ちを祝い、意義あるつどいを記念して、毎年国民の祝日である成人の日に成人のつどいを行っています。また、その年度の成人者で構成する実行委員会が組織され自ら企画準備して実施しています。

- 平成20年度予算額 449千円

### >>> 青少年文化賞顕彰事業

#### (1) 青少年文化賞

全国規模の各種コンクール等において3位以内に入賞または入選するなどの成績をあげ、本市の芸術文化の振興に貢献したと認められる24歳以下の青少年（個人及び団体）が対象です。



#### (2) 青少年文化奨励賞

全道規模の各種コンクール等において優勝するなどの成績をあげ、本市の芸術向上に寄与したと認められる24歳以下の青少年（個人及び団体）が対象です。

### (3) 江別市教育委員会表彰

全道及び道央規模の各種コンクール等において、2位または3位の成績をおさめた青少年の栄誉と努力を讃えるとともに今後の活躍を期待して、教育委員会が表彰を行っています。

## >>> 江別市青少年のための市民会議

市民総ぐるみで青少年の健全育成に取り組むため、関係機関の連絡調整を図り統一的な運動を推進するための市民主体の全市的組織として、昭和55年に結成されました。現在、61の団体会員、282名の個人会員を有し、2専門部会において健全育成、環境浄化、非行防止及び広報啓発等の活動をしています。



## 心のケアの充実

【5.3.2】

## >>> 問題行動対策事業

・平成20年度予算額 6,604千円

### (1) 少年指導センター

専任指導員（3名）、少年育成委員（36名）により、夕方の街頭指導のほか、夜間、祭典時の指導等の特別街頭指導を実施するとともに、有害環境の浄化活動を推進します。

### (2) 江別市指導連絡会

#### (目的)

学校及び関係機関との連携を密にし、情報交換並びに事例研究を通して、健全な児童生徒の育成を図ります。

#### (組織)

江別市教育委員会が委嘱した小、中、高校の生徒指導担当教員及び教育委員会、市健康福祉部、警察等の関係機関の職員で構成されています。

#### (活動内容)

- ・児童生徒の問題行動に関する情報交換
- ・事例研究
- ・市内祭典行事などの特別巡回計画

### (3) 江別市生徒指導担当教員連絡会

(目 的)

生徒の生活面の実態を把握し、望ましい成長を促すとともに、それを阻害する要因を早期に発見し、予防と対応について連絡協議し、関係機関との連携のもとに活動を推進いたします。

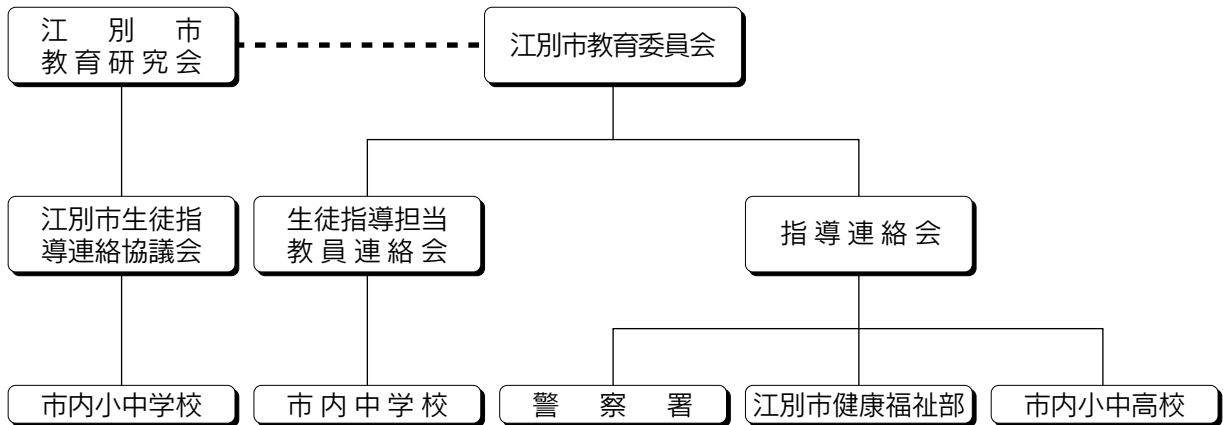
(組 織)

江別市教育委員会が委嘱した中学校の生徒指導担当教員と教育委員会の専任指導員等で構成されています。

(活動内容)

- 生徒の生活上の実態、傾向についての情報交換と分析
- 市内の郊外諸地域の実態把握の活動
- 事例研究と研修活動の充実
- 指導活動の計画と実施
- 関係団体機関等との情報交換及び連絡調整

生徒（児童）指導のための組織



## >>> 電話相談事業

- 平成20年度予算額 980千円

### (1) 江別市ヤングテレホン

青少年や父母等の保護者が、日頃悩んでいる事項を気軽に相談できるよう昭和55年10月に開設されました。ヤングテレホン相談員グループが相談を受け付けます。

(月曜～金曜 午後1時～午後5時 ☎383-8009)

### (2) 江別市子育てテレホン

父母等の保護者を対象として、子育てに関する悩み相談に応じるため、平成7年5月に開設されました。子育てテレホン相談員グループが相談に応じます。

(月曜～金曜 午前10時～正午 ☎384-7005)

## >>> いじめ・不登校対策事業

---

• 平成20年度予算額 2,622千円

### (1) 教育相談

不登校等問題行動で悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員を対象に臨床心理士が相談員として支援にあたっています。(原則として毎週火曜日 10:00~12:00 江別市青年センター)

### (2) ケア事業

レクリエーションや軽スポーツ等の事業を通して、引きこもりがちな子どもが複数の人と一緒に行動できる場をつくり、学校復帰の手がかりを見出すための支援をしています。更にケア事業の拡充として、家庭以外に居場所を失っている子どもに、学習等をする居場所を提供し、学校復帰の手がかりを見いだす‘すぽっとケア’を実施しています。

## >>> 心の教室相談事業

---

心の教室相談員13名を全小学校19校に配置し、生徒の悩み相談に対応できる体制を整備しています。

• 平成20年度予算額 5,550千円

## >>> スクールカウンセラー事業

---

臨床心理士を全中学校10校に配置し、専門的カウンセリングの体制を整備しています。

• 平成20年度予算額 90千円

# ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

## 自主的市民文化・芸術活動の育成・支援【5.4.1】

### >>> 市民文化祭開催支援事業

市民が行っている文化活動の総合的な発表の機会として、10月から11月に文化の日を挟んで、舞台・文芸・展示・生活科学の部門ごとに多彩な行事が実施されます。江別市文化協会が年に一度の芸術文化の祭典として、歴史と伝統を継承し、大切に育てているものです。

- (1) 舞台部門：10月12日(日)～11月23日(日)の期間に市民会館・えぼあホールで開催。  
市民音楽祭／市民器楽祭／太々神楽大会・民謡熱唱／邦楽・邦舞大会／詩吟・剣詩舞大会／  
洋舞フェスティバル／大正琴フェスティバル／子ども文化祭／Eivetz band explosion
- (2) 文芸部門：10月11日(土)～11月2日(日)の期間に野幌公民館等で開催。  
短歌大会／川柳大会／俳句大会／一般文芸
- (3) 展示部門：11月1日(土)～11月3日(月)及び11月7日(金)～9日(日)の期間に各公民館等で開催。  
菊花展／盆栽展／美術展／書道展／陶芸展／華道展／一般展示
- (4) 生活科学部門：10月19日(日)～11月3日(月)の期間に各公民館等で開催。  
囲碁大会／将棋大会／茶会

### >>> 発表の場拡大事業（芸術文化奨励補助金）

市民の地域文化創作活動を活発にするため、文化団体が行う発表活動に必要な経費の一部を助成しています。

- ◇助成対象：市内で文化活動を行っている団体
- ◇助成経費：発表活動で使用する市内公共文化関係施設の基本使用料分が対象となります。
- ◇申請等：活用のご相談や申請手続き等は、生涯学習課文化振興係（☎381-1060）へお問い合わせください。

### >>> 子どもの文化活動育成事業

次世代を担う子どもを対象に、日本の伝統的な文化活動を体験的に習得する機会を提供し、伝統文化に親しみ豊かな人間性をはぐくむことを目的として「土曜広場」を開講しています。

- ◇対象：小中学生
- ◇期間：6月～11月
- ◇回数：月2回（土曜日）
- ◇会場：校区の小学校
- ◇主な講座：囲碁、将棋、手編み・手芸、華道・フラワーアレンジメント、茶道、アートフラワー、木工・工作、百人一首、和太鼓、ハーモニカ、料理、クラフト、その他

## >>> 文化振興奨励事業（芸術文化大会・コンクール出場奨励金）

芸術文化活動の活発化と人材を育成するため、全国規模で行われる各種芸術文化の大会やコンクールに江別市（北海道）を代表して出場権を得た市民（団体または個人）を対象に奨励金を支給する制度を設けています。

- ◇奨励金：1回の出場につき、個人の場合は、10,000円、団体出場の場合は、100,000円までを上限として、10,000円に出場人数を乗じて得た金額を支給いたします。
- ◇申請等：申請手続き等の詳細は、生涯学習課文化振興係（☎381-1060）へお問い合わせください。

## >>> 江別叢書等の販売

郷土の歴史や文化は先人のたゆまぬ努力の足跡であり、永く後世に伝承し保存すべき貴重な文化遺産です。一人でも多くの市民に認識してもらい、江別文化の創造の糧としていくため「江別叢書」を刊行しています。昭和63年からシリーズ全10巻を発刊し販売しています。

また、江別市内の史跡や歴史スポット、豊かな自然を紹介し、市民のみなさんに活用していただくため「ガイドブックシリーズ」を刊行しています。これまで4巻を発刊し販売しています。

- ◇叢書：「江別に生きる」第1巻「世田谷物語」、第2巻「れんがと女」、第4巻「木製戦闘機キ106」、第5巻「人間の詩」、第6巻「番屋残照」、第7巻「母たちの風景」、第8巻「風雪の大地」、第9巻「青年学校物語」、第10巻「野幌原始林物語」  
※第3巻「小森忍の生涯」は、品切れ・絶版となりました。
- ◇ガイドブック：第1巻「史跡が語る江別の歩み」、第2巻「江別の自然を訪ねる」、第3巻「江別を歩く」、第4巻「江別のれんがを歩く」
- ◇販売：いずれも、市役所売店、市内の書店等で販売しています。
- ◇詳細：購入方法や価格等については、生涯学習課文化振興係（☎381-1060）へお問い合わせください。

## >>> 各種助成制度の情報提供

芸術文化の振興を図るため、江別市が設けている制度のほか、国、道、各種財団法人等が行っている助成事業の活用についての相談や照会を行っています。文化関係団体等が行う事業の目的や実施方法等により、助成制度活用の対象要件や補助率等が異なりますので、詳しくは、生涯学習課文化振興係（☎381-1060）へお問い合わせください。

※助成制度の一部をご紹介します。（カッコ内は、主な対象事業名をご紹介します。）

- 江別市教育振興事業補助金（青少年ふれあい交流促進事業）
- 江別市芸術文化奨励補助金（芸術鑑賞招へい事業 発表の場拡大事業）
- 矢澤教育振興基金
- ふるさとふれあい推進基金
- 生涯学習振興奨励費補助金（合唱団演奏会、記念発表大会他）
- 地域政策総合補助金
- コミュニティ事業助成金
- 財団法人北海道文化財団（まちの文化創造事業、こぐま基金事業）
- 住友生命財団
- 株ニトリ「北海道応援基金」

## >>> 陶芸文化普及振興事業

陶芸をはじめたい方、すこし経験をされた方や陶芸の技術を習得したい方など、陶芸制作のための教室や講座、また、陶芸を中心とした作品による芸術鑑賞のための展覧会など、より多くの市民に陶芸ややきものに親しんでもらうことを目的に各種の事業を行っています。

初級・中級をはじめとする教室、夏休み・冬休み親子陶芸体験などの陶芸教室、日曜陶芸体験、ゴールデンウィーク陶芸体験、やきもの市陶芸体験等の体験、技法講座など、各種陶芸に関する教室や講座の開設のほか団体での陶芸体験を希望される方の受付も行っています。

今年度の展覧会事業は、ゴールデンウィーク展覧会をはじめ、8月に「アウトサイダー・アート/陶のかたち 見たことも無い造形の世界へ」として正規の美術教育を受けていない人たちによって制作された作品を紹介し、10月には北海道内の女流工芸家グループ「一の会」の創立25周年記念展示会や、北翔大学短期大学部との連携で開催する「えべつFUROSHIKIフェスティバル2008～風呂敷デザインコンテスト～」など年5回の展覧会を予定しています。

## >>> セラミックアートセンター企画展開催事業

「サッポロクラフトTAG」は、北海道内でガラス・陶芸・木工・金工など様々な工芸ジャンルで活躍する工芸家グループであります。

彼らの創作する作品群は機能性・デザイン性・アート性に富み、生活に潤いと彩りを与えてくれるものです。一方、現代社会においてはモノの本質を見極め使いこなす場面が少なすぎるのが現状といえます。

こうした中であって、吟味された素材を用い、その質感を活かし、技を通して想いを込めた作品を提供する「サッポロクラフトTAG」の成果を発表することは大変意義深いものといえます。

本展では創り手の素材と技への想いを使い手へ直に伝えるとともに、生活空間におけるアート性への親近感の醸成、今後の北海道内における工芸文化の向上に寄与するものとします。



## 文化・芸術を支援する市民組織の育成 【5.4.2】

### >>> まちかどコンサート事業

市民と行政が実行委員会を結成して、市民が芸術文化に接する機会を提供する事業の開催を支援しているものです。

まちかどコンサートは、合唱・弦楽・吹奏楽など市内で音楽活動を行う団体や個人が出演し、多彩なジャンルの音楽で気軽に楽しんでいただけるコンサートを年2回行っています。また、若手音楽家の発掘や育成にも寄与しています。平成20年度は、次のとおり実施します。

◇25th：8月23日(土) セラミックアートセンター屋外

◇26th：11月29日(土) えぼあホール



### >>> トライアスカル事業(トライ☆アス☆カル2008～サマーアートキャンプ IN 江別～)

石狩川や中津湖近辺の自然とふれあい、陶芸・ガラス加工など様々な体験活動を通してふるさとの良さを味わってもらふ事業です。

◇期 日：7月29日(火) 石狩川で親子乗船体験

7月30日(水)～8月1日(金) キャンプ(2泊3日)

◇会 場：石狩川、アトリエ陶風の村

◇主な体験活動：石狩川での弁天丸乗船体験、陶芸・ガラス加工体験、料理体験、農場見学、音楽鑑賞など。

◇対 象：小学生

### >>> 郷土資料館運営事業等

#### (1) ふるさと歴史講座

郷土江別の自然、歴史、文化を系統的に学ぶため、それぞれの分野の専門家が講義します。

#### (2) 学習会・見学会

##### ○子ども学芸員カレッジ講座

博物館の専門職としての実践「学芸員」の仕事を体験します。

##### ○再発見・江別探訪

ふるさと江別の史跡見学をウォーキングしながら健康増進と江別の歴史観を深めます。

##### ○屯田兵に関する歴史講座

江別市開拓に貢献した屯田兵の日常食作り体験講座を開催します。

#### (3) 関連団体との協力

##### ○江別市郷土資料館友の会

江別及び周辺地域の歴史、自然、産業などについて研修し、会員相互の交流をはかるとともに、資料館の関係事業に協力します。事務局は資料館内にあり、どなたでも入会できます。

##### ○江別土器の会

資料館を活動場所に、江別式土器などを復元製作し、公共施設などでの展示や「江別やきもの市」への出品を行い、文化財保護の啓蒙と陶芸の振興に協力しています。

##### ○歴史を伝える集い

郷土資料館に集まり、例会(月1回)の活動をしています。

江別市の歴史、自然、産業につき会員同志の発表会や学習会、戸外での実地見学など実施。また郷土資料館の解説業務、総合学習事業、歴史探訪の講師、市民から提供された民具等の整理展示に協力しています。

# 市民スポーツ活動の充実

## スポーツ・レクリエーション施設の充実【5.5.1】

### >>> 学校体育施設開放事業

#### (1) 社会人体育団体開放事業

市内小中学校25校の体育館・グラウンドを次の内容で開放しています。

- 開放対象：江別市在住・在勤者が8割以上を占めるメンバー10名以上のスポーツ・レクリエーションクラブ
- 開放期間：毎年4月15日～翌年3月末日（学校行事等で開放できないことがあります。また、地域開放実施時はクラブ開放していません。）
- 開放時間：小学校 9:00～20:45 中学校 19:00～21:00（授業・行事・部活等の時間帯を除きます。）

※学校開放を利用する場合には、クラブの登録が必要です。登録についての詳細はスポーツ課（☎381-1061）へお問い合わせください。

#### (2) 地域開放事業

完全学校週5日制に対応すべく毎週土曜日の午前中に小学校10校の体育館・グラウンドを開放しています。体育館ではバドミントン・卓球・ミニバレー・ボール遊びなどができます。

- 開放対象：小学校区内の小中学生とその保護者
- 開放期間：土曜日（長期休業期間と国民の休日にあたる日・学校行事等が行われる日を除く）
- 開放時間：8:30～12:00

※各校2名の指導員が活動のお手伝いをしています。開放日ほか詳細はスポーツ課（☎381-1061）へお問い合わせください。

#### (3) 夏休みプール開放事業

市内小学校17校のプールを次の内容で開放しています。

- 開放対象：小学校区内の小中学生とその保護者
- 開放期間：夏休み期間（定休日ほか休業日があります）
- 開放時間：10:00～12:00、13:00～15:30

※監視員を各校2名配置しています。定休日ほか詳細はスポーツ課（☎381-1061）へお問い合わせください。

### >>> 東野幌体育館整備事業（中原通街路事業関連）

江別の顔づくり事業の一環として計画が進められている、中原通街路事業（北海道事業）に関連した中原通の拡幅に伴い、東野幌体育館研修室1の解体・建て替え（移転・改築）を行います。

- 平成19年度予算繰越明許費 15,031千円
- 平成20年度予算額 49,205千円

## >>> 江別市体育協会補助金

---

市内26競技団体が加盟し、(財)日本体育協会、(財)北海道体育協会と連携をとりながら、江別の競技スポーツの振興に努めています。競技大会への出場、種目指導などのご質問・ご相談は各団体にお問い合わせください。市では、単位協会活動費助成事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業、研修事業に対して、体育協会の効果的事業展開を助長し、市全体の競技スポーツのレベル向上に資するために補助しています。

- 平成20年度予算額 1,727千円

## >>> 江別市スポーツ少年団補助

---

江別市スポーツ少年団は、本市の青少年スポーツを統括する中枢組織であり、青少年のスポーツ活動と健全育成に寄与しています。

スポーツ少年団独自に全体事業を展開し、指導者の養成や団員にスポーツを親しむ機会を提供するなど、市全体の青少年スポーツの振興に資するために補助するものです。

- (1) 単位団助成 (2) 指導者養成 (3) 交流事業 (4) 体力測定事業 (5) 少年大会派遣事業  
(6) 専門部大会事業

19年度は、11種目42団体、1,413人の団員と215人の指導者が登録をしています。

- 平成20年度予算額 2,222千円

## >>> 総合型地域スポーツクラブ

---

総合型地域スポーツクラブは、文部科学省が21世紀の生涯スポーツ社会実現のために1つの大きな柱としている政策で、全国で事業が展開されています。

主にヨーロッパ諸国に見られるスポーツクラブの形態で、地域において、子どもから高齢者までさまざまなスポーツを愛好する人々が参加できる「地域の人たちによって自主的に運営されるスポーツクラブ」のことです。

その特色は、「単一のスポーツ種目ではなく、複数の種目が用意されている」、「青少年から高齢者、初心者からトップアスリート、スポーツを楽しむ人から競技スポーツを実施する人まで様々な階層の人々が活動することができる」、「地域スポーツセンター等を拠点として、定期的・計画的なスポーツ活動ができ、優れた指導者によって、個々人のニーズに合った指導が受けられる」などの点です。

また、総合型地域スポーツクラブのメリットは、次の3つにまとめることができます。

### ①生涯スポーツの振興

誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現のため、住民が日常的にスポーツを行う場を提供し、環境整備を推進する役割があります。

### ②子どもたちの健全育成

学校の枠組みを超えて、地域の指導者や学校の先生などに一貫した指導を受けながら、地域の人々がスポーツを通して子どもたちを育て見守る教育的な意味があります。

### ③住民の交流が進む明るいまちづくり

人々の健康・体力を維持する身体活動の場となるだけでなく、地域の人々がスポーツ活動を通して

良好なコミュニティを形成することができます。

市内はもとより石狩管内第1号の総合型スポーツクラブが、上江別地区に「地域スポーツクラブきらり」として、平成16年1月に設立され、地区外からの参加希望も受け入れ、各種スポーツ教室を開催するなどの活動を展開しています。

また、北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センターでは、「誰でも、世代を超えて、いろいろなスポーツを」をテーマに、スポーツを通じた交流や、一体感・活力を生み出す活動を目指す総合型地域スポーツクラブ「スポルクラブ」を平成19年11月に設立しています。

## >>> ツール・ド・北海道開催事業

---

道内最大の自転車レースである、ツール・ド・北海道が平成17年以来、3年ぶりに江別で開催され、9月14日(日)の第5ステージのゴールが道立野幌総合運動公園になっています。

この大会の開催について補助金を支給します。

- 平成20年度予算額 100千円

## スポーツ・レクリエーション機会の充実【5.5.2】

### >>> スポーツ大会出場奨励金

江別市民で、それぞれの大会において予選を突破し、国際・全国・全道規模の各種スポーツ大会に出場する青少年と一般の個人の方を対象に、スポーツ大会出場奨励金を支給しています。

該当する大会・申請書類等の審査がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

#### 支給基準表

大会規模	支給額(円)	大会の内容	備考
国際大会	30,000	世界選手権、日本と外国との親善大会等	大会開催地が日本国外
	20,000		大会開催地が日本国内
	20,000	北海道と外国の州等との親善大会等	大会開催地が日本国外
	10,000		大会開催地が北海道内
全国大会	10,000	全日本選手権等	大会開催地が北海道外
	5,000		大会開催地が北海道内
全道大会	3,000	全道選手権、北海道予選会等	大会開催地までの距離が100km未満の場合は支給しない。ただし、宿泊を伴う場合は、この限りではない。

### >>> 青少年スポーツ賞

スポーツ大会で顕著な活躍をした青少年を表彰し、青少年スポーツの振興奨励とその健全育成に資することを目的として、昭和59年3月に制定しました。道内外で行われる各種スポーツ大会に参加し、輝かしい成績をあげた青少年を顕彰する制度です。

#### ①青少年スポーツ賞

活動拠点が江別市内にある団体や個人が全国規模の各種スポーツ大会において、上位入賞または全国的な記録を収めた高校生以下の青少年が対象です。推薦を受けた個人・団体を対象に毎年2月に表彰しています。

#### ②青少年スポーツ奨励賞

活動拠点が江別市内にある団体や個人が全道規模の各種スポーツ大会において、上位入賞または全国的な記録を収めた高校生以下の青少年が対象です。

#### ③教育委員会表彰

活動拠点が江別市内にある団体や個人が全道規模の各種スポーツ大会において、2位または3位の成績を収めた小中学生が対象です。

### >>> 軽スポーツ出前事業

10人以上の団体やグループ単位で、ミニテニス・フライングディスク・ユニカール・ハッピーボウリング・テーパーボール・長縄跳び&バンブージャンプの6種目の中から気軽に楽しめる軽スポーツを選び、活動場所を指定してください。体育指導委員が伺って指導いたします。ご利用の際は、指導者の手配等に日数を要しますので、1ヶ月以上の余裕をもってお申し込みください。

# 子育て環境の充実

## 幼保機能の充実

【3.3.2】

### >>> 幼稚園保育料の減免（幼稚園就園奨励事業）

江別市教育委員会では、各幼稚園が実施する保育料の減免に対して、補助（幼稚園就園奨励費）を行っています。

#### 【平成20年度の減免の概要】

減免額は世帯の課税状況や家族構成によって異なり、次のようになります。

1. 園児に小学校1～3年生の兄や姉がいない場合
  - 園児のうち最年長者（第1子） イ
  - 園児のうち次年長者（第2子） ロ
  - 上記以外の園児（第3子以降） ハ
2. 園児に小学校1～3年生の兄や姉が1人いる場合
  - 園児のうち最年長者（第1子） ニ
  - 上記以外の園児（第2子以降） ホ
3. 園児に小学校1～3年生の兄や姉が2人以上いる場合 ホ

区 分	減 免 額 （ 年 額 ）				
	イ	ロ	ハ	ニ	ホ
①生活保護世帯					
②市民税非課税世帯	146,200円	190,000円	260,000円	162,000円	176,000円
③市民税所得割非課税世帯	110,800円	165,000円	253,000円	129,000円	147,000円
④市民税所得割課税額が34,500円以下の世帯	84,200円	146,000円	248,000円	106,000円	126,000円
⑤市民税所得割課税額が34,501円以上183,000円以下の世帯	59,200円	129,000円	243,000円	83,000円	106,000円

※共働きなどで世帯の2人以上に所得がある場合は、市民税所得割額を合算します。

※途中入退園等の場合は、在園期間に応じて減額します。

※幼稚園への保育料等支払額が上記減免額を下回る場合は、その支払額が減免額の上限となります。

※「市民税所得割課税額」は、租税特別措置法による税額控除適用前の額（税額控除前所得割額）とします。

### >>> 幼稚園に対する補助制度

幼稚園教育の充実と幼稚園経営安定化のため、また、保護者負担の軽減につなげるため、各幼稚園及び私立幼稚園連合会に対し、次のような補助をしています。

#### 【幼稚園補助の概要】

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度（予算）
運営費に対する補助	17,916,000円	17,747,000円	19,996,000円
障がい児教育に対する補助	1,500,000円	1,000,000円	
連合会事業に対する補助	500,000円	500,000円	
合 計	19,916,000円	19,247,000円	19,996,000円

### >>> 江別市幼児教育推進協議会

幼児教育の振興と充実のために、市内の幼児教育機関や他の関係する機関により「江別市幼児教育推進協議会」を設置しています。この協議会では、幼児教育や保育事業における諸課題についての協議や情報の交換をしています。

（協議会の構成：各幼稚園、各小学校、各保育園、教育委員会、江別市健康福祉部）

# 国内・国際交流の推進

## 異文化交流の推進

【6.3.3】

### >>> 小中学生国内研修交流事業

小中学生を対象として友好都市高知県土佐市と相互訪問による交流事業を行い、他都市における歴史・文化・産業を学ぶとともに、郷土を愛する心を育みます。

- 平成20年度予算額 1,204千円
- 平成20年度派遣日程 10月14日～17日
- 平成20年度受入日程 1月27日～30日



### >>> 中学生海外研修交流事業

中学生を対象として、姉妹都市である米国オレゴン州グレシャム市との交流事業を行い、国際理解を高めながら、新しい地域づくりの推進者としての資質の向上を図ります。

- 平成20年度予算額 1,631千円
- 平成20年度派遣日程 12月4日～14日
- 平成20年度受入日程 2月上旬～2月中旬



## >>> 教育委員の紹介



委員長  
はせがわ きよ あき  
長谷川 清明  
平成20年6月30日就任



委員  
かた やま みよ 代  
片山 美代  
平成9年6月30日就任



委員  
そう ま のりこ  
相馬 範子  
平成14年3月1日就任



委員  
うえ の さと し  
上野 聡志  
平成20年6月30日就任



教育長  
つき だ けん じ  
月田 健二  
平成20年6月30日就任

※発行月現在の委員構成の内容です。

## >>> 各種審議会等

### 1 江別市就学指導委員会

小中学校に就学する児童・生徒の心身の障がいの程度等の判断、教育相談及び就学指導について、教育委員会の諮問に応じ、調査及び審議し、その結果を答申します。

(構成：18名以内 医療関係者、学校関係者、福祉関係者等)

### 2 江別市奨学審議委員会

高等学校の就学に必要な資金の一部を貸与する奨学生の選定、その他奨学金の貸与支給等の事項について、教育委員会の諮問に応じ、その結果を答申します。

(構成：8名 学校関係者、PTA関係者、福祉関係者、女性団体関係者等)

### 3 江別市立小学校及び中学校通学区域審議会

教育委員会の諮問に応じて、小中学校の通学区域の設定及び変更、その他通学区域に関する事項について調査及び審議し、その結果を答申します。

(構成：15名以内 学識経験者、学校関係者、PTA関係者、関係行政機関等)

### 4 江別市社会教育委員の会議

社会教育に関する諸計画の立案及び教育委員会の諮問に応じた意見陳述等をします。

(構成：10名 学校関係者、社会教育諸団体、学識経験者等)

### 5 江別市文化財保護委員会

市内に所在する文化財の指定及び保護に関する事項について、教育委員会の諮問に応じ、調査及び審議し、その結果を答申します。

(構成：10名以内 学識経験者等)

### 6 江別市スポーツ振興審議会

スポーツの振興に関する事項についての調査審議及び建議等を行うことを目的に設置しています。

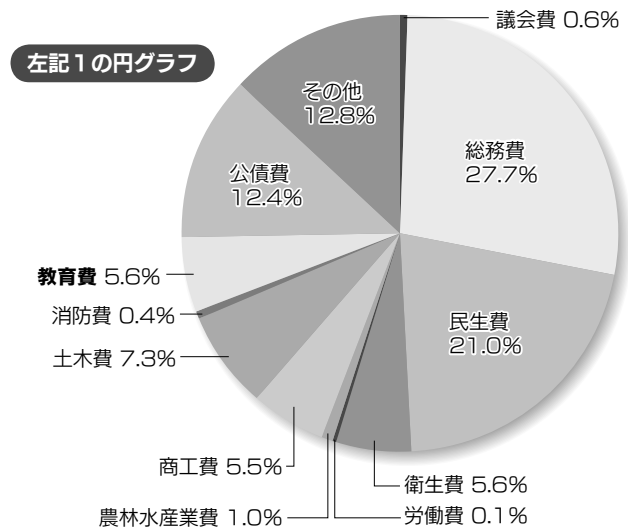
(構成：11名以内 スポーツ関係者、学校関係者、関係行政機関等)

## >>> 教育予算の状況

平成20年度の江別市一般会計予算の規模は、385億9,000万円で、このうち教育費は、21億6,409万円で全体予算の5.6%となっています。

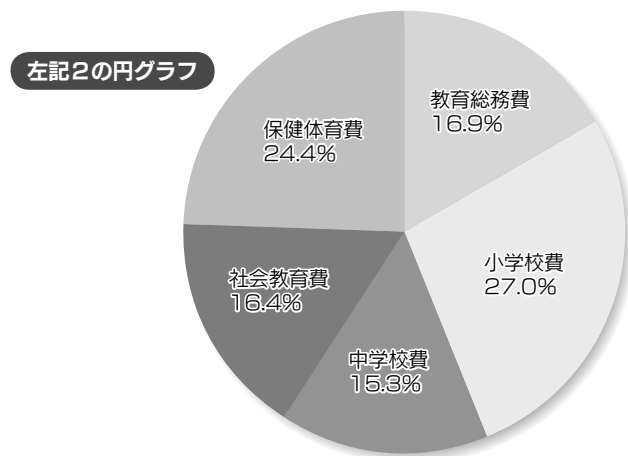
### 1 平成20年度一般会計当初予算の構成

区 分	額 (千円)	割 合
議 会 費	213,960	0.6%
総 務 費	10,685,992	27.7%
民 生 費	8,083,625	21.0%
衛 生 費	2,170,959	5.6%
労 働 費	36,199	0.1%
農林水産業費	404,919	1.0%
商 工 費	2,110,626	5.5%
土 木 費	2,818,499	7.3%
消 防 費	153,552	0.4%
教 育 費	2,164,095	5.6%
公 債 費	4,803,316	12.4%
そ の 他	4,944,258	12.8%
計	38,590,000	100.0%



### 2 平成20年度教育費の構成

区 分	額 (千円)	割 合
教育総務費	366,099	16.9%
小学校費	583,272	27.0%
中学校費	331,390	15.3%
社会教育費	354,082	16.4%
保健体育費	529,252	24.4%
計	2,164,095	100.0%



### 3 教育予算の推移

年 度	一般会計予算 (千円)	伸び率	教育費 (千円)	伸び率	構成比
平成11年度	45,111,816	3.6	3,097,478	△ 37.3	6.9
12年度	45,953,575	1.9	4,309,463	39.1	9.4
13年度	46,493,810	1.2	2,780,375	△ 35.5	6.0
14年度	41,822,982	△ 10.0	2,582,886	△ 7.1	6.2
15年度	41,221,696	△ 1.4	2,343,591	△ 9.3	5.7
16年度	40,440,000	△ 1.9	2,296,443	△ 2.0	5.7
17年度	38,099,000	△ 5.8	2,383,827	3.8	6.3
18年度	38,110,000	0.0	2,232,202	△ 6.4	5.9
19年度	38,061,000	△ 0.1	2,112,322	△ 5.4	5.5
20年度	38,590,000	1.4	2,164,095	2.5	5.6

※各年度歳出決算額による。ただし、平成20年度は当初予算額。

## &gt;&gt;&gt; 江別市立小中学校一覽

平成20年5月1日現在（学校基本調査）

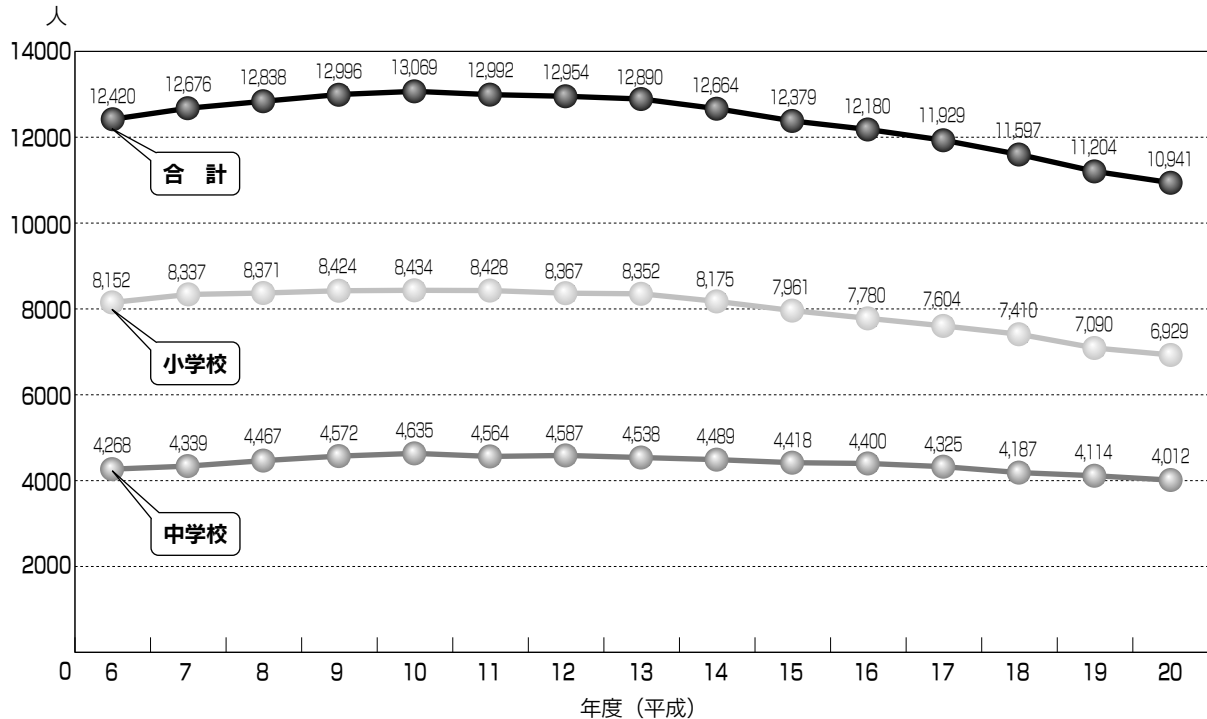
学校名	所在地	電話	校長名	学 級 数					児 童 生徒数	
				うち特別支援学級数						
				知的	情緒	病虚弱	肢体	弱視		
江別小学校	萩ヶ岡19	382-3153	住友 俊郎	6						209
江別第二小学校	野幌代々木町39	383-0015	阿部 千里	20		1				634
江別第三小学校	緑町西1丁目37	382-2205	安藤 信行	13	1	1				296
豊幌小学校	豊幌419	383-4440	七尾 豊	6						182
江別太小学校	朝日町25-2	382-2580	龍本 英世	18						600
大麻小学校	大麻宮町2	386-5301	釜田 恵児	12	1	1				284
対雁小学校	見晴台17-1	382-2004	原井 諭	21						698
野幌小学校	西野幌252	382-2151	工藤 正義	6						98
角山小学校	角山453	383-4240	荒木実千子	3						13
東野幌小学校	東野幌町48	382-3158	佐藤 健二	20	1	1		1		533
大麻東小学校	大麻東町32	386-5361	野田 公一	12						354
大麻西小学校	大麻扇町1	386-5013	三上 雄一	14						394
中央小学校	向ヶ丘54	384-3001	石垣 信広	16	2	1				434
大麻泉小学校	大麻泉町27	386-0737	小関 明	12	2	2				246
野幌若葉小学校	野幌若葉町5-3	385-3131	工藤 憲	15						457
北光小学校	篠津805-3	383-1031	入沢 潤司	5						47
文京台小学校	文京台70	386-7700	櫛引 慎一	6						160
いずみ野小学校	対雁113-1	381-5090	櫛田 栄子	11				1		342
上江別小学校	ゆめみ野南町9-13	380-1122	中村 一治	29						948
小 学 校 計				245	7	7		2	0	6,929
江別第一中学校	上江別西町40	383-0011	高橋 憲康	21	2	1				648
江別第二中学校	野幌代々木町53	382-2456	伊原 護	14	1	1		1		365
江別第三中学校	牧場町21	382-2080	木村 博子	13						459
野幌中学校	西野幌92-3	384-3339	牛角 貴一	20						718
角山中学校	角山453	383-4240	荒木実千子	3						16
江北中学校	美原1445	383-1030	常田 拓孝	3						35
大麻中学校	大麻宮町1	386-5341	西出 研二	13						459
大麻東中学校	大麻697-1	387-0732	田中 覚	13	1	1			1	344
江陽中学校	萌えぎ野中央10-2	385-0851	山田 春雄	12						394
中央中学校	元野幌700-3	385-5581	片桐 壽春	17						574
中 学 校 計				129	4	3		1	1	4,012
小 中 合 計				374	11	10		3	1	10,941

※各学校のより詳しいご案内は、別途発行しております「江別市立小・中学校 学校案内」にて掲載しています。なお、「江別市立小・中学校 学校案内」は江別市教育委員会ホームページでもご覧になれます。

（江別市教育委員会ホームページURL：<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/kyouiku/index.html>）

## >>> 児童生徒数の推移（市立小中学校）

江別市立小中学校の児童生徒数は、人口増加率の減少や少子化などにより、平成10年度をピークにして、平成11年度以降減少傾向にあり、今後もこの傾向は続いていくものと予想されます。



### 学年別の内訳

各年5月1日現在（学校基本調査）

区分 年度	小学校										中学校						児童生徒数計	
	学校数	学級数	教員数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	学校数	学級数	教員数	1年生	2年生	3年生		計
平成6	17	270	405	1,312	1,276	1,358	1,364	1,458	1,384	8,152	10	126	278	1,390	1,441	1,437	4,268	12,420
7	17	269	405	1,268	1,371	1,356	1,408	1,425	1,509	8,337	10	128	282	1,441	1,426	1,472	4,339	12,676
8	17	267	406	1,286	1,321	1,419	1,405	1,450	1,490	8,371	10	130	287	1,538	1,479	1,450	4,467	12,838
9	18	270	417	1,328	1,325	1,382	1,448	1,435	1,506	8,424	10	133	290	1,508	1,563	1,501	4,572	12,996
10	18	267	415	1,376	1,367	1,362	1,397	1,476	1,456	8,434	10	136	293	1,528	1,528	1,579	4,635	13,069
11	19	276	426	1,276	1,403	1,391	1,414	1,430	1,514	8,428	10	134	288	1,467	1,546	1,551	4,564	12,992
12	19	272	423	1,295	1,316	1,419	1,435	1,443	1,459	8,367	10	136	295	1,527	1,504	1,556	4,587	12,954
13	19	274	427	1,341	1,312	1,342	1,436	1,471	1,450	8,352	10	135	293	1,479	1,540	1,519	4,538	12,890
14	19	267	421	1,195	1,349	1,323	1,364	1,454	1,490	8,175	10	132	288	1,446	1,491	1,552	4,489	12,664
15	19	265	438	1,193	1,214	1,368	1,338	1,377	1,471	7,961	10	133	301	1,470	1,453	1,495	4,418	12,379
16	19	265	437	1,194	1,206	1,244	1,391	1,356	1,389	7,780	10	133	301	1,462	1,475	1,463	4,400	12,180
17	19	259	428	1,129	1,216	1,235	1,259	1,404	1,361	7,604	10	132	296	1,377	1,473	1,475	4,325	11,929
18	19	250	407	1,096	1,139	1,236	1,241	1,280	1,418	7,410	10	131	279	1,333	1,378	1,476	4,187	11,597
19	19	247	430	1,063	1,113	1,140	1,245	1,251	1,278	7,090	10	130	288	1,396	1,339	1,379	4,114	11,204
20	19	245	419	1,058	1,078	1,119	1,151	1,266	1,257	6,929	10	129	289	1,265	1,401	1,346	4,012	10,941

## &gt;&gt;&gt; 江別市立小中学校施設概要

平成20年5月1日現在

学校名	校舎構造	校舎面積	屋体面積	グラウンド面積	敷地面積	校舎建設年	屋体建設年	プール設置年
江別小学校	B・R	4,746	862	8,190	23,142	昭和28年	昭和33年	昭和35年
江別第二小学校	B・R	5,617	1,156	13,988	27,229	昭和25年	昭和60年	昭和39年
江別第三小学校	B・R	4,047	1,091	6,889	15,812	昭和26年	平成2年	昭和59年
豊幌小学校	R	3,328	750	15,716	25,379	平成4年	昭和59年	平成9年
江別太小学校	R・S	3,377	909	13,200	25,981	昭和42年	昭和51年	昭和57年
大麻小学校	R・B	4,566	1,033	6,307	25,335	昭和31年	平成3年	昭和63年
対雁小学校	R	5,794	1,079	10,947	25,508	昭和47年	昭和62年	平成2年
野幌小学校	R	1,484	825	13,410	25,645	平成8年	平成8年	
角山小学校	W	999	—	13,500	29,866	昭和40年	昭和35年	
東野幌小学校	R	6,047	1,091	14,574	27,550	昭和38年	平成5年	昭和48年
大麻東小学校	R	5,521	1,017	7,800	21,130	昭和44年	昭和44年	昭和48年
大麻西小学校	R	3,499	706	9,000	24,008	昭和46年	昭和46年	昭和59年
中央小学校	R	4,631	1,006	13,566	28,334	昭和51年	昭和51年	昭和61年
大麻泉小学校	R	3,144	970	12,000	25,536	昭和52年	昭和52年	昭和62年
野幌若葉小学校	R	3,920	981	14,456	24,014	昭和59年	昭和58年	平成元年
北光小学校	R	1,947	749	15,675	29,164	昭和61年	昭和60年	平成5年
文京台小学校	R	3,593	1,092	11,200	30,800	昭和62年	昭和61年	平成3年
いずみ野小学校	R	4,176	1,092	16,859	33,699	平成9年	平成9年	平成11年
上江別小学校	R	5,927	1,256	13,545	29,704	平成11年	平成11年	平成12年
小学校計		76,363	17,665	230,822	497,836			
江別第一中学校	B・R	4,988	1,237	17,200	37,083	昭和25年	平成4年	
江別第二中学校	R	3,907	1,235	19,313	31,902	昭和35年	平成7年	
江別第三中学校	R	4,540	1,219	14,005	36,289	昭和36年	平成6年	
野幌中学校	R	5,266	1,026	20,533	39,190	昭和54年	昭和54年	
角山中学校	R	1,250	667	—	—	昭和56年	昭和53年	
江北中学校	S	1,387	854	20,853	38,488	昭和41年	平成9年	
大麻中学校	R	5,243	1,165	20,397	40,140	昭和43年	昭和43年	
大麻東中学校	R	5,139	1,072	19,801	35,531	昭和54年	昭和54年	
江陽中学校	R	3,777	1,027	16,471	29,785	昭和58年	昭和57年	
中央中学校	R	6,031	1,300	22,263	38,086	平成5年	平成5年	
中学校計		41,528	10,802	170,836	326,494			
小中合計		117,891	28,467	401,658	824,330			

※B：ブロックその他造、R：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、W：木造

## >>> 市内の市立以外の学校

### 私立中学校

区分	学校名	所在地	電話	教員数	生徒数	学級数
私立	立命館慶祥中学校	西野幌640-1	381-8888	34	528	15

※人数は、学校基本調査（平成20年5月1日）の数値による。

### 高等学校

区分	学校名		所在地	電話	学 科	教員数	生徒数	学級数
公立 (道立)	江別高校	全日制	上江別444-1	382-2173	普通・事務情報・生活デザイン	66	1,072	27
		定時制			普通	9	70	4
	野幌高校（全日制）		元野幌740	382-2477	普通	61	1,013	27
	大麻高校（全日制）		大麻147	387-1661	普通	64	1,151	29
私立	とわの森三愛高校（全日制）		文京台緑町569	386-3111	普通・酪農経営・（英語）	54	834	24
	立命館慶祥高校（全日制）		西野幌640-1	381-8888	普通	50	960	25

※とわの森三愛高校の英語科については、現在募集はしていません。

※人数は、学校基本調査（平成20年5月1日）の数値による。

### 大 学

区分	学校名	所在地	電話	学 部	学 科	教員数	学生数
私          立	酪農学園大学	文京台緑町582	386-1111	酪農学部	酪農学科、農業経済学科、食品科学科、食品流通学科	160	3,803
				獣医学部	獣医学科		
				環境システム学部	生命環境学科・地域環境学科・環境マネジメント学科 経営環境学科		
	酪農学園大学 短期大学部	文京台緑町582	386-1111		酪農学科	9	96
	北 翔 大 学	文京台23	386-8011	人間福祉学部	介護福祉学科・生活福祉学科・福祉心理学科	95	2,179
				生涯学習システム学部	健康プランニング学科・芸術メディア学科・学習コーチング学科		
	北 翔 大 学 短期大学部	文京台23	386-8011		人間総合学科（服飾美術系・スポーツ科学系・養護保健系・経営情報系・舞台芸術系・総合教養系）こども学科（児童コース・幼児コース・保育コース）専攻科	33	558
	札幌学院大学	文京台11	386-8111	人文学部	人間科学科・英語英米文学科・臨床心理学科・子ども発達学科	137	4,619
				法学部	法律学科		
				経済学部	経済学科		
商学部第1部(第2部)				商学科			
社会情報学部	社会情報学科						
北海道情報大学	西野幌59-2	385-4411	経営情報学部	先端経営学科 システム情報学科 医療情報学科	67	1,537	
			情報メディア学部	情報メディア学科			
			通信教育部	経営ネットワーク学科 システム情報学科			

※人数は、学校基本調査（平成20年5月1日）の数値による。

※学生数は、学部・本科に在籍する学生の数を表示しています。ただし、札幌学院大学の夜間部の学生数及び情報大学の通信教育部の学生数・教員数は含まれません。

## 盲学校

区分	学校名	所在地	電話	教員数	幼児・児童・生徒数
公立 (道立)	北海道札幌盲学校	大麻元町154-1	386-1444	28	幼児教育部 : 5 小学部 : 15 中学部 : 16

※人数は、学校基本調査（平成20年5月1日）の数値による。

## &gt;&gt;&gt; 市内の幼稚園

## 幼稚園一覧

設置主体	幼稚園名	住所	電話	園児数
学校法人江別キリスト教学園	若葉幼稚園	5条5丁目8番地	382-2701	69
学校法人江別大谷学園	江別大谷幼稚園	6条5丁目1番地	385-2323	94
学校法人江別若葉学園	元江別わかば幼稚園	元町24番地の8	382-2501	170
学校法人札幌佐藤学園	上江別幼稚園	上江別433番地の19	383-7555	233
学校法人昭光学園	江別あかしゃ幼稚園	江別太222番地の6	382-3916	193
学校法人野幌キリスト教学園	のっぽろ幼稚園	野幌若葉町3番地の3	384-0420	149
学校法人二番通学園	元野幌めぐみ幼稚園	野幌寿町45番地の1	382-3882	121
学校法人北海道カトリック学園	大麻藤幼稚園	大麻中町9番地の1	386-8838	41
学校法人北海道ルーテル学園	大麻ひかり幼稚園	大麻園町32番地の1	386-8738	96
学校法人鶴川学園	晃成幼稚園	大麻東町30番地の10	386-1216	38
学校法人浅井学園	大麻幼稚園	大麻西町15番地	386-5014	171
学校法人増山学園	あけぼの幼稚園	大麻栄町11番地の12	386-0006	138
学校法人浅井学園	第2大麻幼稚園	大麻宮町8番地	386-2011	170

## 園児数等

年度	平成16年度				平成17年度				平成18年度				平成19年度				平成20年度			
	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計
対象児	1,003	1,056	1,100	3,159	974	1,036	1,082	3,092	966	1,017	1,052	3,035	977	971	1,040	2,988	889	1,005	991	2,885
園児	295	710	759	1,764	297	714	753	1,764	311	680	740	1,731	325	668	711	1,704	314	676	693	1,683

※対象児数は、住民基本台帳（5月1日現在）による。

※園児数は、学校基本調査（5月1日現在）による。

※3歳園児数には、本年度中に満3歳になる園児数を含める。

# >>> 放課後児童会・児童センター一覽

平成20年4月1日現在

区分	施設名	電話	定員 (3学年合計)	開設時間	休館日
	開設場所				延長保育
放課後児童会	森の子児童クラブ	387-0404	20	通常：放課～18時 土曜・学校休業： 8時45分～18時	日祝・年末年始
	文京台7-4（森の子児童センター内）				無
	萩ヶ岡児童クラブ	384-1241	27	同上	日祝・年末年始
	萩ヶ岡8-2（萩ヶ岡児童センター内）				無
	野幌ひまわり児童クラブ	384-2840	60	同上	日祝・年末年始
	野幌代々木町39-1（野幌ひまわり児童センター内）				無
	おおぞら児童会	384-9127	50	同上	日祝・年末年始
	見晴台17（対雁小学校敷地内）				有（8時～19時まで）
	あかしゃ児童会	382-3916	25	通常：放課～17時 学校休業：9～17時	土日祝・お盆・年末年始
	江別太222-6（あかしゃ幼稚園内）				無
	こひつじ児童会	382-7133	40	通常：放課～17時 学校休業：9～17時	土日祝・お盆・年末年始・年度末
	野幌若葉町3-8（のっぽろ幼稚園内）				有（8時～18時半まで）
	元江別わかば児童会	382-2501	30	通常：放課～17時半 学校休業：8時半～17時半	日祝・お盆・年末年始
	元町24-8（元江別わかば幼稚園内）				有（18時半まで）
	大麻ジュニアクラブ	386-1309	30	通常：放課～17時半 土曜：7時半～15時半 学校休業：8～17時半	日祝・お盆・年末年始・年度末
	大麻東町30-14				有（延長保育料無、18時半まで迎え必要）
	ベストフレンズ	387-5095	40	通常：放課～17時半 土曜：8時半～17時半 学校休業：8時半～17時半	日祝・お盆・年末年始・年度末
	大麻扇町2-5				有（8時～19時まで）
	こまどり児童会	384-6785	30	通常：放課～17時半 土曜：8時半～17時半 学校休業：8時半～17時半	日祝・お盆・年末年始・年度末
	幸町7-1				有（7時半～19時まで）
	クマさんのレンガの家（ジュニアクラブ）	382-9490	40	通常：放課～19時 土曜：9～19時 学校休業：9～19時	日祝・お盆・年末年始
	東野幌本町67-21				有
	クマさんのレンガの家（ゆめみ野ジュニアクラブ）	381-7242	70	通常：放課～19時 土曜：9～19時 学校休業：9～19時	日祝・お盆・年末年始
	ゆめみ野南町27-1				有
	クマさんのレンガの家（第2ゆめみ野ジュニアクラブ）	381-7242	30	通常：放課～19時 土曜：9～19時 学校休業：9～19時	日祝・お盆・年末年始
	ゆめみ野南町27-1				有
	大麻あけぼの放課後児童クラブ	386-0006	30	通常：放課～18時 土曜：8時半～14時 学校休業：8時半～18時	日祝・お盆・年末年始
	大麻栄町11-12（あけぼの幼稚園内）				無
	いずみっこクラブ	080-3230-5089	40	通常：放課～18時 土曜：9～18時 学校休業：9～18時	日祝・お盆・年末年始
	対雁115-115（対雁自治会館内）				有（18時半まで）
	豊幌児童クラブ	383-4440	20	通常：放課～17時 (10～2月は放課～16時) 学校休業：9～17時	土日祝・お盆・年末年始
	豊幌419（豊幌小学校内）				無
	共同学童保育所つばみ	391-2092	10 程度	通常：放課～17時半 学校休業：8時～17時半	土日祝・お盆・年末年始
一番町20-10		無			
放課後児童クラブ ふわっと	381-2393	おおむね 20	通常：放課～17時半 学校休業：9時～17時半	日祝・お盆・年末年始	
元野幌701-16 ハイツイ新栄台壱番館101				有（要相談）	
めぐみ児童会	382-3882	30 程度	通常：放課～17時 学校休業：9時～17時	日祝・8月7～9日、14～18日・年末年始・創立記念日	
野幌寿町45-1（元野幌めぐみ幼稚園2階）				有（8時～18時半）	
東光児童センター	383-3197	—	通常：11～17時 土曜：9～17時 学校休業：10～17時	休館日 日祝・年末年始	
東光町27-7		—	通常：11～17時 土曜：9～17時 学校休業：10～17時		
麻の実児童センター	387-0707	—	通常：11～17時 土曜：9～17時 学校休業：10～17時		
大麻東町14-8		—	通常：11～17時 土曜：9～17時 学校休業：10～17時		
萩ヶ岡児童センター	384-1241	—	通常：11～17時 土曜・学校休業：9～17時		
萩ヶ岡8-2		—	通常：11～17時 土曜・学校休業：9～17時		
森の子児童センター	387-0404	—	通常：11～17時 土曜・学校休業：9～17時		
文京台7-4		—	通常：11～17時 土曜：9～17時 学校休業：10～17時		
東野幌青少年会館	381-2822	—	通常：11～17時 土曜：9～17時 学校休業：10～17時		
野幌東町62-3		—	通常：13～17時 土曜：9～17時 学校休業：10～17時		
大麻西小ミニ児童館	386-5093	—	通常：11～17時 土曜・学校休業：9～17時		
大麻扇町1（大麻西小学校内）		—	通常：11～17時 土曜・学校休業：9～17時		
野幌ひまわり児童センター	384-2840	—	通常：11～17時 土曜・学校休業：9～17時		
野幌代々木町39-1		—	通常：11～17時 土曜・学校休業：9～17時		

注) ・放課後児童会の対象は1年生から3年生です。空き状況、利用料等は各施設へお問い合わせください。  
 ・児童センターの開設時間中、毎日12～13時の間は閉館します。  
 ・野幌ひまわり児童クラブについては、廃止を検討中のため、21年度以降の募集は停止予定です。  
 ・その他、ご不明な点は子ども家庭課（011-381-1408）へお問い合わせください。

## >>> 社会教育施設

### 中央公民館

所在地 江別市3条5丁目11番地の1 (☎382-2376)  
 構造 鉄筋コンクリート造3階建(うち、2階、3階部分)  
 平成元年9月1日開館  
 面積 建築 1,326㎡ 延床 2,499㎡  
 施設 1階 コミュニティーセンター(多目的ホール、会議室、控室など)、事務室  
 2階 研修室、調理実習室、児童室、情報図書館江別分館  
 3階 工芸室、研修室、和室、水屋  
 開館時間 午前9時～午後9時  
 休館日 月曜日 12月29日～1月3日  
 ※指定管理者制度導入施設



### 野幌公民館

所在地 江別市野幌町13番地の6 (☎382-2414)  
 構造 鉄筋コンクリート造2階建  
 昭和59年12月1日開館  
 面積 建築 1,931㎡ 延床 2,872㎡  
 施設 1階 ホール、ギャラリー、研修室、和室、調理実習室、団体活動室、児童室、特別会議室、ロビー、談話室、事務室  
 2階 研修室、工芸室、視聴覚室  
 開館時間 午前9時～午後9時  
 休館日 月曜日 12月29日～1月3日  
 ※指定管理者制度導入施設



### 大麻公民館 (市民文化ホール)

所在地 江別市大麻中町26番地の7 (☎387-3315、387-3120)  
 構造 RC構造2階建(一部SRC構造)  
 平成9年10月1日開館  
 面積 建築 3,230㎡ 延床 4,430㎡  
 施設 〈ホール関係〉客席数453席固定式(車椅子スペース6席)、ステージ、楽屋、多目的室、リハーサル室  
 〈公民館関係〉ギャラリー、研修室、視聴覚室、和室、工芸室、調理実習室  
 開館時間 午前9時～午後9時  
 休館日 月曜日 12月29日～1月3日  
 ※指定管理者制度導入施設



## 旧町村農場

位 置 江別市いづみ野25番地  
敷地面積 11,319㎡  
構 造 第一牛舎 木造平屋建 656㎡  
旧町村邸 木造平屋建 335㎡  
面 積 製酪室 煉瓦造平屋建 50㎡  
開館日時 4月29日～11月23日  
午前10時～午後5時  
(期間中は原則休館日なし)  
入 場 料 無 料  
※指定管理者制度導入施設



## 北海道林木育種場旧庁舎

位 置 江別市文京台緑町561番地の2  
構 造 1 階 煉瓦組積造 744㎡  
2 階 木 造 650㎡  
小屋裏 木 造 140㎡  
利 用 等 1階の休憩室、談話室、トイレ、更衣室は、  
毎週土曜日・日曜日と国民の祝日（12月  
29日～1月3日は除く）の午前9時30分  
～午後4時30分は一般の方の利用ができ  
ます。



## 江別市民文化ホール（えぼあホール）

江別市民文化ホール（えぼあホール）は、市民の芸術文化活動の創造、発表、鑑賞の場として音楽、演劇、舞踊などのあらゆる舞台芸術に対応できる施設として平成9年10月に開館しました。愛称の「えぼあ」は、江別（えべつ）、野幌（のっぼろ）、大麻（おおあさ）から一字ずつ取って公募により名づけられました。なお、施設は大麻公民館との複合施設となっております。

所 在 地 江別市大麻中町26番地の7  
(☎387-3120、387-3315)  
構 造 R C構造2階建（一部S R C構造）  
面 積 建築 3,230㎡ 延床 4,430㎡  
施 設 客席数453席固定式（車椅子スペース6席）、  
ステージ、楽屋、多目的室、リハーサル室  
開館時間 午前9時～午後9時  
休 館 日 月曜日 12月29日～1月3日  
※指定管理者制度導入施設

## 情報図書館

### 1 各施設の概要

(1) 本館（野幌末広町7番地 ☎384-0202）

開館時間 金・日 10時～17時  
火・土 10時～19時（試行）  
水・木 10時～21時

休館日 毎週月曜日  
特別図書整理期間（6月中の1週間を  
予定していますが変更となる場合も  
あります。）

年末年始

図書整理日 毎月第4金曜日



(2) 江別分館（3条5丁目11番地の1 中央公民館内 ☎385-1372）

開館時間 火～日 10時～17時  
休館日・図書整理日 本館と同じ

(3) 大麻分館（大麻中町26番地の7 大麻公民館内 ☎387-1634）

開館時間 火～日 10時～17時  
休館日・図書整理日 本館と同じ

(4) 豊幌小学校図書館地域開放事業（豊幌419番地 豊幌小学校内 ☎383-4486）

開放時間 水 14時～17時  
土・日 10時～17時  
休館日 本館と同じ日に加えて火・木・金曜日・祝日

### 2 蔵書冊数

本館各館の図書などの所蔵している分類別冊数などの内訳は表のとおりです。 平成20年3月31日現在

分類 館名	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 工学	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	F フィクション	一般図書 合計	児童 図書	郷土 資料	図書 合計	雑誌	AV 資料
本館	8,721	9,180	19,172	36,087	13,396	16,908	7,650	20,335	4,526	41,078	44,915	221,968	55,908	17,480	295,356	15,368	12,897
江別分館	208	379	1,098	1,086	813	1,847	332	1,266	206	2,711	6,391	16,337	13,327	1,087	30,751	1,049	0
大麻分館	456	692	1,871	2,069	1,264	1,813	504	2,025	326	6,670	9,580	27,270	11,794	1,098	40,163	1,226	1,113
豊幌小	295	296	817	689	518	1,395	327	709	126	2,155	3,459	10,786	11,414	237	22,437	552	33
計	9,680	10,547	22,958	39,931	15,991	21,963	8,813	24,335	5,184	52,614	64,345	276,361	92,443	19,902	388,707	18,195	14,043

※本館冊数に学校支援用図書を含む

### 3 利用登録者・貸出登録者の年齢別状況

平成20年3月31日現在

年齢等 区分	0～6	7～12	13～15	16～18	19～22	23～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	優待者	団体	計
利用登録者	367	3,650	3,344	3,878	4,803	7,579	7,779	8,438	7,204	4,366	3,119	912	45	128	55,612
貸出登録者	358	2,602	1,137	983	1,390	1,482	3,273	3,663	3,347	2,585	1,420	311	11	54	22,616

※貸出登録者は平成19年度中の実利用者数

#### 4 情報図書館利用状況

##### (1) 図書などの貸出状況（平成19年度）

区 分	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数
本 館	12,373	53,147	13,353	57,117	10,110	45,097	13,396	57,199	13,852	59,205	12,897	54,600	12,693	55,033
江別分館	1,460	6,614	1,427	6,696	1,328	6,244	1,490	7,094	1,365	6,212	1,399	6,233	1,435	6,833
大麻分館	3,100	12,779	3,295	13,560	2,733	11,648	3,206	13,179	3,112	13,131	3,132	12,829	3,047	12,554
豊幌小	311	1,416	440	1,533	362	1,302	426	1,520	311	1,275	410	1,510	454	1,496
計	17,244	73,956	18,515	78,906	14,533	64,291	18,518	78,992	18,640	79,823	17,838	75,172	17,629	75,916

区 分	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		計	
	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数
本 館	12,846	56,708	11,403	50,969	12,345	55,995	11,615	51,524	13,704	61,202	150,587	657,796
江別分館	1,513	7,261	1,305	6,085	1,340	6,515	1,339	6,443	1,504	6,963	16,905	79,193
大麻分館	3,076	12,430	2,805	11,563	2,925	12,161	2,945	12,160	3,157	13,344	36,533	151,338
豊幌小	454	1,551	423	1,542	326	1,418	406	1,411	421	1,631	4,744	17,605
計	17,889	77,950	15,936	70,159	16,936	76,089	16,305	71,538	18,786	83,140	208,769	905,932

##### (2) 開催事業の状況（平成19年度）

おはなし会		映画会		パソコン教室		コンピュータ室開放		科学教室		展示会		その他		合 計	
件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数
305	5,053	136	1,137	270	2,346	231	1,824	0	0	27	1,119	25	432	994	11,911

※おはなし会件数・参加者とも分館開催分も含む

##### (3) 施設利用状況（平成19年度）

施設 団体	ビデオ視聴室		ビデオ編集室		コンピュータ学習室		科学教室		その他		合 計	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
学校教育関係	0	0	0	0	0	0	0	0	3	60	3	60
ボランティア団体	0	0	0	0	0	0	0	0	529	4,480	529	4,480
その他の団体	1	30	0	0	86	1,190	0	0	7	69	94	1,289
合 計	1	30	0	0	86	1,190	0	0	539	4,609	626	5,829

## 郷土資料館

北海道考古学上、さわめて特色のある遺跡群を擁する江別市。

展示テーマは「考古資料」と「開拓の歴史」の二つに絞り込み、土器が一举に、年代別、型体別に網羅され市内で収集した貴重な文化財を市民共有のかけがえのない遺産として収蔵し、公開活用するため、平成3年4月10日に開館しました。

今後も、開催事業の充実を通して、市民の生涯学習の要請に積極的に応えていきます。

### 1 事業

- 収集・保管 市内の開拓資料や自然、文化に関する資料を収集し保管します。
- 展示 大昔の人々の暮らしから屯田兵の入植をへて、昭和までの江別市の歴史を展示します。
- 普及活動 江別市の文化財や歴史に関する講座学習会、見学会なども開きます。また、収蔵資料に関する説明、助言、解説図録の出版などを行います。
- 調査・研究 江別市の文化財や歴史に関する調査研究を行い、その成果を公表します。

### 2 施設

位置 江別市緑町西1丁目38番地 (☎385-6466)

構造 鉄筋コンクリート造 2階建

面積 建築 608.3㎡ 延床 976.8㎡

施設 1階 展示室、ホール、保存作業室、資料撮影室、事務室、研究室、保管庫他  
2階 展示室、収蔵展示室、物品庫

開館時間 午前9時30分～午後5時 (ただし、入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日 (ただし、その日が祝日の時は開館)、祝日の翌日 (休日が連続する場合は、最後の休日の翌日)、年始年末 (12月29日～1月3日)

入館料 大人 個人 200円

(団体 20名以上 160円)

小・中学生 個人 100円

(団体 20名以上 80円)

本館共通券 大人 個人 240円

(団体 20名以上 200円)

小・中学生 個人 120円

(団体 20名以上 100円)

身障者手帳受給者は無料



### 3 展示内容と展示資料数

テーマ1 ふるさと江別 27点

(1)江別 (2)江別の四季

テーマ2 大昔の江別 816点

(1)土器の移り変わり (2)江別文化の人々 (3)人びとの暮らし (4)北海道式古墳の謎  
(5)古文書による江別

テーマ3 開拓の始まり 110点

(1)対雁 (2)屯田兵 (3)北越殖民社 (4)その他の開墾

テーマ4 町の発展 180点

(1)明治から大正へ (2)昭和の御代 (3)敗戦と復興

テーマ5 産業の歴史	176点
(1)農業 (2)酪農 (3)窯業 (4)水産業 (5)製紙業	
テーマ6 チョウの世界	582点
(1)南米産のチョウ (2)日本産のチョウ	
収蔵展示室 日常生活資料	574点
合計	2,465点

#### 4 収蔵資料数

市民からの寄贈などによって約22,500点の郷土資料を収集し、文化財整理室（大麻北町520の2）で保管しています。この膨大な資料を効率的に管理し、市民サービスなど有効活用を図るため、現在これら収蔵資料情報の電算化作業を進めています。

#### 屯田資料館（野幌屯田兵第二中隊本部）

明治17年頃に建てられた、野幌屯田兵第二中隊本部の建物を平成5年に解体し、同6年に復原修理工事を行い、平成7年4月29日に開館しました。

建物の仕様は、洋風2階建て、屋根は急勾配の切妻造りです。

内部は、1階が中隊長室・軍医室・下士事務室・下士集会室など、2階は兵器・練習器材などの格納庫として利用されていたようです。

位 置	江別市野幌代々木町38番地の11
構 造	木造2階建
面 積	建築 150.72㎡ 延床 260.03㎡
開館時間	4月29日～11月3日の午前9時30分～ 午後5時 (ただし、入館は午後4時30分まで)
開 館 日	土・日曜日、祝日
休 館 日	上記以外の曜日は休館日
入 館 料	大 人 100円 (団体 80円) 小中学生 50円 (団体 40円) 身障者手帳受給者は無料



#### 江別市セラミックアートセンター

江別は、古くからやきものとかかわりながら発展してきた街です。古代の歴史を伝える江別式土器、百年余の伝統を誇るれんが産業、北海道陶芸の基礎を築いた小森忍など、“れんがとやきもの”をキーワードに市民のみなさんといっしょに江別の芸術文化の振興と北海道のやきもの文化を創造していこうとする施設です。

位 置	江別市西野幌114番地5 (☎385-1004)
構 造	鉄筋コンクリート造2階建一部4階建
面 積	建築 3,192㎡ 延床 4,100㎡
施 設	1階 エントランスホール 北のやきもの展示室 れんが資料展示室 教室工房 教室工房乾燥室 レンタル工房 レンタル工房乾燥室 材料庫 窯室

第1収蔵庫 倉庫 研究室 写場 事務室 会議室 応接室 機械室  
 2階 企画展示室 第2収蔵庫 第3収蔵庫 倉庫 研修室 研修室倉庫 図書室  
 資料室 ラウンジ 望楼

観覧時間 午前9時30分～午後5時（ただし、入館は午後4時30分まで）

レンタル工房・教室工房・研修室利用時間

午前／午前9時～正午

午後／午後1時～午後5時

夜間／午後6時～午後9時

休館日 月曜日（ただし、その日が祝日の場合は開館）、祝日の翌日（休日が連続する場合は、最後の休日の翌日）、12月29日～1月3日

観覧料金 常設展示：高校生以上300円（240円）、小中学生150円（120円）

※（ ）内は20人以上の団体

身障者手帳受給者は無料

企画展の場合、別途料金を設定している場合がありますので、お問い合わせください。

### 各室基本使用料

（単位：円）

使用時間		午前	午後	夜間
企画展示室	全室	7,400	9,300	9,600
	半室	3,700	4,700	4,800
研修室		3,900	4,900	5,000
教室工房	専用	4,500	6,000	6,000
	個人	150	200	200
レンタル工房		500	650	650

#### ・企画展示室

企画展事業や陶芸文化普及振興事業で開催する展覧会を行います。平成20年度は6本の展覧会を開催する予定です。

#### ・北のやきもの展示室

北海道のやきものを展示しています。日本における釉薬研究の第一人者で、戦後、北海道のやきもの発展に尽くした小森忍の足跡をたどる記念室と、現在活躍している道内作家の作品約60点を紹介する一現窯一からなる展示室です。

#### ・れんが資料展示室

江戸時代末期よりはじまったといわれる北海道の赤れんがの生産を、明治時代から現在まで継続的に行っているのは江別だけです。また、その生産量は、今日では日本一ともいわれています。

この展示室では、道内で最初に生産された耐火れんがや、明治時代に道内各地で生産された赤れんがから、現在江別で生産しているれんがまで、また、明治から大正そして昭和を経て現在まで生産されてきたれんがの歴史を、窯の写真、ジオラマや映像により変遷をたどりながら紹介します。

#### ・教室工房

より多くの市民のみなさんに陶芸を親しんでもらうとともに、本格的な作陶の場として利用していただけです。

当センターでの各種教室事業以外、個人で陶芸を制作される方に、午前150円、午後200円の料金を教室をご利用いただけます。

- レンタル工房

中級以上の方々が自由に創作活動を行える場として、また、本格的なロクロにより制作をされる方には、当施設をご利用ください。午前500円、午後650円で工房を使用できます。



## &gt;&gt;&gt; スポーツ施設概要

名 称 等	位 置 等
江 別 市 民 体 育 館	江別市野幌町9番地 ☎384-5001 延床面積4,962㎡ 体育室（バスケット、バレー、バドミントン等）、柔剣道室、 トレーニング室、卓球場4台、会議室、役員放送室、 ロッカー・シャワー室、テニスコート2面（全天候）、 弓道場近的6人立ち、相撲場
江 別 市 大 麻 体 育 館	江別市大麻中町26番地の17 ☎382-1439 延床面積3,540㎡ 第1体育室（バレー、バスケット、バドミントン等） 第2体育室（剣道、柔道、軽スポーツ等） 第3体育室（卓球、バドミントン等） トレーニング室、軽スポーツ室 ・軽スポーツ室平成10年2月増床。
江 別 市 青 年 セ ン タ ー	江別市緑町西2丁目11番地 ☎383-1221 延床面積3,567㎡ 体育館プール棟、 研修棟（会議室、音楽室、談話室、調理室）
江 別 市 東 野 幌 体 育 館	江別市東野幌町28番地の23 ☎382-5000 延床面積1,953㎡ 体育室（バドミントン3面、バレー・バスケット1面等）、 研修室、会議室、多目的ホール
江 別 市 あ け ぼ の パ ー ク ゴ ル フ 場	江別市あけぼの町10番地 ☎382-8900 敷地面積21,594㎡ 27ホール、パー101、Aコース距離419m、Bコース380m、 Cコース373m、管理棟、駐車場25台
江 別 市 森 林 キ ャ ン プ 場	江別市西野幌928番地 ☎384-5001 市民体育館
飛 鳥 山 公 園 問い合わせ先：青年センター	江別市緑町西2丁目11番地 野球場、テニスコート（4面：クレー2面、全天候型2面）、 多目的市民広場、グリーンボールコース
大 麻 東 公 園 問い合わせ先：大麻体育館	江別市大麻東町35番地 テニスコート、野球場、グリーンボールコース
大 麻 西 公 園 問い合わせ先：大麻体育館	江別市大麻沢町27番地 野球場、ソフトボール場、パークゴルフ練習場、 テニスコート
大 麻 新 町 公 園 問い合わせ先：大麻体育館	江別市大麻新町29番地 テニスコート
石 狩 川 河 川 敷 緑 地 問い合わせ先：青年センター	江別市工栄町堤外地 少年野球場(文化財発掘調査中)、ソフトボール場、サッカー場
大 麻 中 央 公 園 問い合わせ先：大麻体育館	江別市大麻宮町10番地 野球場
野 幌 末 広 町 公 園 問い合わせ先：市民体育館	江別市野幌末広町3番地 少年野球場、ゲートボール場
は や ぶ さ 運 動 広 場 問い合わせ先：大麻体育館	江別市大麻北町520番地 少年野球場、ゲートボール場、多目的コート、テニスコート
特 設 ス ケ ー ト リ ン ク 問い合わせ先：市民体育館	江別市野幌代々木町53番地（第二中学校グラウンド） ※冬季のみ

## >>> スポーツ団体一覧（江別市体育協会加盟団体）

平成20年6月1日現在

NO.	団 体 名	事 務 局
1	陸 上 競 技 協 会	小 山 勇 夫
2	バ レ ー ボ ー ル 協 会	田 村 孝 次
3	卓 球 連 盟	高 橋 孝 也
4	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 協 会	濱 崎 利 彦
5	野 球 連 盟	加 藤 孝 和
6	テ ニ ス 協 会	鈴 木 潤 治
7	水 泳 協 会	安 保 美 幸
8	弓 道 連 盟	藤 田 和 伸
9	バ ド ミ ン ト ン 協 会	鳴 海 仁
10	ス キ ー 連 盟	長 野 謙 一
11	ス ポ ー ツ 少 年 団	小 林 則 幸
12	ソ フ ト テ ニ ス 連 盟	渡 辺 孝 二
13	柔 道 連 盟	林 紀 博
14	剣 道 連 盟	中 山 喜 美 雄
15	サ ッ カ ー 協 会	堀 江 祐 一
16	相 撲 連 盟	宮 野 正 春
17	空 手 道 連 盟	金 内 晴 夫
18	ソ フ ト ボ ー ル 協 会	月 田 孝 一
19	ゲ ー ト ボ ー ル 協 会	上 原 慶 一
20	少 林 寺 拳 法 協 会	高 橋 康 子
21	パ ワ ー リ フ テ ィ ン グ 協 会	清 水 伸 二
22	武 術 太 極 拳 連 盟	石 山 ゆ い
23	ミ ニ バ レ ー 協 会	阿 瀬 川 裕 子
24	パ ー ク ゴ ル フ 協 会	伊 藤 博 昭
25	ボ ウ リ ン グ 協 会	八 澤 昭 司
26	新 体 操 協 会	小 松 寛 子

江別市体育協会事務局 〒069-0813 江別市野幌町9番地 江別市民体育館内 ☎384-5001 ☎385-7192

※連絡先などの詳細については、江別市体育協会事務局にお問い合わせください。

## >>> 各スポーツ施設利用状況

### 1 屋内施設

(単位：人)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
市民体育館	178,672	190,494	178,886	179,701	174,889	
大麻体育館	133,880	132,535	130,323	132,263	131,858	
青年センター(計)	107,068	105,712	104,831	74,096	100,229	
体育館・研修室	49,450	53,173	55,362	37,247	52,705	H19年度体育館31,971 研修室20,734
プール	57,618	52,539	49,469	36,849	47,524	
東野幌体育館	—	62,228	63,036	65,069	65,856	H15.10～市体育施設 H16年度より屋内施設 へ計上する。
合 計	419,620	490,969	477,076	451,129	472,832	

### 2 屋外施設

(単位：人)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
飛鳥山公園(計)	22,110	22,226	25,697	24,124	23,190	
野球場	11,608	9,967	12,095	11,081	8,894	
多目的市民広場	2,250	3,702	4,039	4,112	4,144	
テニスコート	8,252	8,557	9,563	8,931	10,152	ハード・クレイ各2面
石狩川河川敷(計)	7,320	4,841	6,087	6,998	8,132	
野球場	—	—	—	—	—	文化財発掘調査中
ソフトボール場	1,451	1,654	3,012	3,457	3,752	2面
サッカー場	5,869	3,187	3,075	3,541	4,380	2面
はやぶさ運動広場(計)	23,862	24,988	34,252	29,931	49,756	
野球場	19,071	21,270	30,814	25,578	25,009	1面
テニスコート	2,662	1,915	1,915	2,145	2,560	クレイ2面
多目的広場	950	834	940	1,620	21,600	1面
ゲートボール	1,179	969	583	588	587	2面
野幌末広町公園野球場	6,668	9,092	8,217	8,802	8,880	
大麻東公園(計)	3,795	7,571	5,563	5,790	7,631	
野球場	2,724	5,943	4,506	4,786	6,265	
テニスコート	1,071	1,628	1,057	1,004	1,366	
大麻西公園(計)	10,038	8,974	10,105	11,571	8,930	
野球場	5,395	4,783	6,199	7,786	5,652	
テニスコート	4,643	4,191	3,906	3,785	3,278	
大麻中央公園野球場	3,915	6,655	8,859	7,271	25,639	
大麻新町公園テニスコート	1,061	1,304	1,109	924	835	
合 計	78,769	85,651	99,889	95,411	132,993	

### 3 森林キャンプ場

(単位：人)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
合 計	17,231	17,828	9,057	10,012	8,233	
団 体(日帰り)	5,687	7,627	1,130	1,522	1,011	
団 体(宿泊)			1,006	994	973	
個 人(日帰り)	10,618	8,878	3,089	3,623	3,205	
個 人(宿泊)			3,386	3,474	2,808	
日帰り炊飯	926	1,323	446	399	236	

### 4 あけぼのパークゴルフ場

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
合 計	52,289	46,592	36,272	38,124	42,636	
開放日数(日)	166	169	179	182	183	
1日当たり(人)	315	276	203	209	233	
1日券(件)	—	130	3,120	3,136	3,057	購入件数 (利用者合計に含まない)
1ラウンド券(件)	2,905	3,027	5,852	4,900	4,564	
延長9ホール券(件)	—	—	—	764	1,404	
回数券(件)	583	445	698	335	338	
特別使用(人)	490	498	878	1,604	1,652	
小学生(以下:人)	262	157	194	246	266	
中学生	101	56	71	77	91	
高校生	9	17	10	49	6	
大学生	32	45	13	182	19	
一般	5,664	4,441	22,386	20,300	20,195	
65歳以上	46,221	41,876	—	—	—	料金改定により17年度より高齢者の免除廃止。以降、無料は障がい者の減免のみの計上
(うち市外)	(157)	(435)	—	—	—	
無料			878	1,604	1,652	
団体使用	—	—	12,720	15,666	20,407	平成17年度より (料金改定による)

### 5 スケートリンク

(単位：人)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
第二中学校	7,423	8,384	12,356	9,350	9,493	

## >>> 江別市教育のあゆみ

年号	できごと
明治10年	対雁教育所（現対雁小学校）開設
15年	篠津村に寺子屋（旧篠津小学校）開設
19年	公立江東学校（現江別小学校）及び公立江別西学校（現江別第二小学校）開校
24年	野幌に寺子屋（現野幌小学校）開設
31年	豊幌に幌向育成尋常小学校分教場（現豊幌小学校）開設 篠津村第一原野簡易教育所（旧江北小学校）開設
34年	麻畑簡易教育所（現大麻小学校）開設
35年	三原簡易教育所（旧美原小学校）開設
大正7年	私立西角山小学校（現角山小学校）開校
10年	野幌原始林が特別天然記念物の指定を受ける
昭和4年	公立江別実科高等女学校（現江別高等学校）及び江別第三尋常小学校（現江別第三小学校）開校
8年	篠津小学校浦篠津分校（旧八幡小学校）開校
17年	興農義塾野幌機農学校（旧酪農学園大学附属高等学校）開校
22年	江別第一中学校、江別第二中学校、江別第三中学校、江別第二中学校野幌分校（現野幌中学校）及び江別第三中学校篠津分校（旧篠津中学校）開校
23年	新野幌小学校及び江別小学校江別太分校（現江別太小学校）開校、野幌高等学校開校
24年	下の月小学校、江別第一中学校美原分校（旧美原中学校）開校
25年	酪農学園短期大学開校
27年	飛鳥山運動公園完成
29年	江別文化祭開始、市民体育大会開始
30年	江別市教育研究所設立、江別第三中学校八幡分校（旧八幡中学校）開校
32年	江別第三小学校円型モデル校舎完成、高等看護学院開設
33年	特殊学級（江別第一中学校・精薄）開設、公民館（旧中央公民館）オープン、野幌屯田兵第二中隊本部が北海道文化財に指定される、体育指導委員（第1期）任命、三愛女子高等学校（現とわの森三愛高等学校）開校
34年	江別高等学校焼失
35年	江別第三中学校角山分校（現角山中学校）開校、江別小学校プール開設、酪農学園大学開校、江別高等学校新校舎完成、豊幌小学校健康優良校全道一となる
37年	江別小学校及び豊幌小学校で給食開始
38年	旧江別兵村記念館完成、歩こう会開始
39年	東野幌小学校開校
40年	大麻5遺跡及び旧豊平河畔遺跡発掘
41年	江北中学校開校（篠津中学校、美原中学校、八幡中学校の統合）、新野幌小学校開校、野幌公民館オープン、北海道女子短期大学開校、江別市文化協会設立、留守家庭児童会開始、道立消防学校開校
42年	補導センター（現少年指導センター）開設、道立図書館オープン
43年	大麻中学校開校、学校給食センター完成、学校開放事業開始、スケートリンク（飛鳥山）開設、札幌商科大学（現札幌学院大学）開校、旧江北小学校移転
44年	大麻東小学校開校、青少年キャンプ村開始
45年	第2回道民スポーツ大会石狩大会開催
46年	大麻西小学校開校、八幡小学校閉校、青年センターオープン
47年	青年センター温水プール完成、老人大学開講
49年	大麻公民館オープン、給食センター対雁調理場完成、第1回石狩管内郷土芸術祭開催、第6回道民スポーツ大会開催
50年	聚楽学園開講、市民マラソン及び歩くスキー大会開始、青少年芸術劇場開催
52年	中央小学校開校、第9回道民スポーツ大会開催
53年	大麻泉小学校開校、江別太遺跡発掘、市民体育館オープン、市民登山開始、野幌高等学校新校舎完成
54年	大麻東中学校開校、米飯給食開始、幼児健康教室及び高齢者健康教室開設、ヤングテレホン設置、大麻体育館オープン
55年	下の月小学校閉校、野幌中学校移転改築、文化財事務所設置
56年	青空子どもの広場開始、青少年健全育成市民の集い開催、夏休み水泳教室開始、高等看護学院閉院
57年	角山小中学校新校舎完成、ちびっ子スキー場（大麻西公園）造成、江別式土器56点（坊主山遺跡出土）市の有形文化財に指定
58年	江陽中学校開校、少年と高齢者のふれあい促進事業開始、生徒指導専門相談員設置

年号	できごと
昭和59年	野幌若葉小学校開校、ふれあいソフトボール開始、古代史ふれあい体験学習開始、麻の実児童センターオープン、野幌公民館移転改築、江別市スポーツ賞制定、大麻高等学校開校、親と子のふれあいコンサート開始
60年	給食センター文部大臣表彰受賞、第34回全道学校保健研究大会開催、パソコン研究推進校指定、マンドリンコンサート開始
61年	北光小学校開校（篠津小学校、美原小学校、江北小学校の統合）、プラスバンドフェスティバル開始、青少年芸術劇場開催、森林キャンプ場完成、グリーンボール考案
62年	文京台小学校開校、江別市青少年文化賞制定
63年	英語指導助手配置、青少年健全育成シンボル「青い羽根」制定
平成元年	江別叢書刊行（第1巻世田谷物語、第2巻れんがと女）、情報図書館オープン、中央公民館（コミュニティセンター）移転改築
2年	大麻体育館増築完成、野幌公民館文部大臣表彰受賞
3年	江別叢書刊行（第3巻小森忍の生涯）、郷土資料館オープン、酪農学園大学附属高等学校・とわの森三愛高等学校統合、教育委員会組織改編（学校教育部、社会教育部の二部制）
4年	野幌小学校特認校制度スタート、天の川シンフォニー開始、グリーンコンサート開催、学校週5日制はじまる、江別叢書刊行（第4巻木製戦闘機キ106）、（財）江別市スポーツ振興財団設立
5年	中央中学校開校、小中学生国内研修交流事業はじまる（土佐市訪問）、江別太遺跡出土品重要文化財に指定される
6年	ガラス工芸館オープン、野幌屯田兵第二中隊本部復原工事実施、江別叢書刊行（第5巻人間の詩）、北海道演劇祭inえべつ開催、PMF・ウィーン弦楽四重奏演奏会開催、セラミックアートセンターオープン
7年	いじめ・不登校相談電話開設、屯田資料館（第二中隊本部）オープン、生涯学習推進協議会設立、子育てテレホン開設、生涯学習フェスティバルえべつ開催、グリーンモール彫刻家4人展開催、元江別1遺跡土壌墓出土品重要文化財に指定される
8年	まちかどコンサート開催、旧町村農場オープン、全国高校総合文化祭開催、老年の主張大会開催、野幌小学校全面改築、江別高等学校新校舎完成、江別叢書刊行（第6巻番屋残照）
9年	いずみ野小学校開校、大麻公民館移転改築、市民文化ホールオープン、豊幌小学校コミュニティスクールライブラリー開設、あけぼのパークゴルフ場オープン、江別叢書刊行（第7巻母たちの風景）
10年	豊幌小学校プール開設、江別古墳群国の史跡指定を受ける
11年	上江別小学校開校、いずみ野小学校プール開設、市民ミュージカル開催、野幌太々神楽100周年、公民館管理運営を江別振興公社に委託、江別叢書刊行（第8巻風雪の大地）
12年	野幌小学校6年生中国訪問、上江別小学校プール開設、飛鳥山公園多目的市民広場オープン、教育委員会組織改編（教育部の一部制）、江別叢書刊行（第9巻青年学校物語）
13年	市民が歌う第九演奏会開催、新給食センターオープン、中央中男子バレー部全国中学校体育大会優勝、北海道林木育種場旧庁舎供用開始
14年	完全学校週5日制はじまる、第46回北海道学校給食研究大会開催、グレシャム・バーロー教育区次長来江（野幌中・中央中訪問）、小中学校一斉公開実施、教育タウンミーティング開催、子どもの文化活動育成事業（土曜広場）開始、江別叢書刊行（第10巻野幌原始林物語）
15年	オペラカルメン開催、学校選択制度について通学区域審議会に諮問し答申を受ける、（仮）上江別総合型地域スポーツクラブ（現 地域スポーツクラブきらり）創設
16年	台風18号被害（第一中学校の屋根吹き飛ばす）、江別市制施行50周年記念「札幌・うたの花束」開催、こいのぼりフェスティバル開催
17年	フェスティバルオーケストラ演奏会（えぼあホール、市制施行50周年記念事業）、あけぼのパークゴルフ場Cコースオープン、キャリア実践プロジェクト（5日間連続職場体験）実施、こいのぼりフェスティバル掲揚塔設置（ふるさとふれあい推進事業）、人間尊重教育の推進事業で「竹下佳江講演会」を開催
18年	情報図書館の開館時間延長（試行）、華麗なるマイセン磁器展開催 第17回世界少年野球大会北海道大会開催、心のダイレクト・メール事業実施 江別市子どもの読書活動推進計画策定
19年	小学生英語活動副読本及び教師用小学校英語活動指導書の作成、江別市特別支援教育連携協議会及び江別市特別支援教育専門家チームの設置、江別小学校余裕教室の柔道場への改修、豊平硝子の100年展開催、第2回全国学校給食甲子園特別賞受賞（給食センター対雁調理場）

## >>> 教育委員会の主な仕事の内容と担当部署

担当部署（課名）	主 な 仕 事
総務課 ☎381-1057 ☎382-3434	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総務係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員及び教育委員会の会議</li> <li>・学校の設置及び廃止</li> <li>・大学を除く私立学校教育の助成</li> <li>・スクールバスの運行管理</li> <li>・幼児教育及び幼稚園関係</li> </ul> </li> <li>●施設係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設、設備の管理</li> <li>・教職員住宅</li> </ul> </li> </ul>
学校教育課 ☎381-1058 ☎382-3434	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校教育係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒の就学</li> <li>・特別支援学級</li> <li>・就学援助</li> <li>・奨学資金</li> <li>・教材、教具及び備品</li> <li>・学校保健</li> <li>・学校衛生管理</li> <li>・学校教育に関すること</li> <li>・学級編制</li> <li>・教科書関係</li> <li>・教職員人事</li> <li>・英語指導助手</li> </ul> </li> <li>●参事（教育支援担当）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校適正配置</li> <li>・特別支援教育</li> <li>・学校選択制</li> </ul> </li> </ul>
教育部参事 （少年指導・学校安全担当） ☎381-1409 ☎382-3434	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参事（少年指導・学校安全担当）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年指導センターの運営・青少年の指導活動</li> <li>・青少年指導の相談、支援活動・社会環境浄化活動</li> <li>・青少年指導、支援関係団体及び機関との連絡調整</li> <li>・児童生徒の安全対策</li> </ul> </li> </ul>
給食センター ☎382-5188 ☎382-5188	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の企画実施</li> <li>・学校給食施設設備の設置及び廃止</li> </ul> </li> <li>●センター調理場・対雁調理場               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食献立作成及び調理指導</li> <li>・学校給食の調理及び配送</li> <li>・学校給食指導</li> </ul> </li> </ul>
生涯学習課 ☎381-1062 ☎382-3434	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習事業の企画、実施</li> <li>・生涯学習関連情報の収集、提供</li> <li>・生涯学習関連施設の管理</li> <li>・社会教育関係団体の育成、認定及び連絡調整</li> <li>・社会教育委員の会議</li> </ul> </li> <li>●文化振興係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化事業の企画、実施</li> <li>・文化関係団体の育成及び連絡調整</li> <li>・文化関係施設の管理</li> </ul> </li> <li>●青少年係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年教育事業の企画、実施</li> <li>・青少年健全育成</li> <li>・青少年関係団体との連絡調整</li> </ul> </li> <li>●参事（社会教育推進担当）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習、社会教育の事業の総合調整</li> <li>・生涯学習、社会教育の調査研究</li> </ul> </li> </ul>
スポーツ課 ☎381-1061 ☎382-3434	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ振興係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ事業の企画、実施</li> <li>・スポーツ施設の計画、運営</li> <li>・指定管理者との連絡調整</li> <li>・スポーツ指導者養成</li> <li>・スポーツ団体の育成</li> <li>・スポーツ振興審議会</li> <li>・体育指導委員関係</li> <li>・スポーツ関係団体との連絡調整</li> <li>・学校開放事業</li> </ul> </li> </ul>
情報図書館 ☎385-3733 ☎385-1129	<ul style="list-style-type: none"> <li>●奉仕係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書等の収集、整理</li> <li>・館内利用及び館外貸し出し</li> <li>・読書指導、相談</li> <li>・分館活動</li> </ul> </li> <li>●事業係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器、視聴覚機器等による事業</li> <li>・視聴覚ライブラリー運営</li> </ul> </li> </ul>
郷土資料館 ☎385-6466 ☎385-4944	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料館の管理運営</li> <li>・資料館事業の企画、実施</li> <li>・資料の収集、保管、展示</li> <li>・郷土学習の推進</li> <li>・セラミックアートセンターに関すること</li> </ul> </li> <li>●文化財係               <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財の保護、保存</li> <li>・文化財及び歴史的遺産の保存活用</li> <li>・文化財保護委員会</li> </ul> </li> </ul>

